## 基本計画書

			基			本			Ē	+		画	Ī		
事			項			記		-	λ			欄		備	考
計	画	の 区	分	研究	究科の設置	重									
フ 設	j	ブ ガ 置	ナ 者		コウホウシ`ン 交法人 耳										
フ 大	学	リ ガ の 名	ナ 称	東‡ (G		斗大学大学	学院医学	研究科	ku Med	lical and	Pharmad	ceutical			
大	学 2	は 部 の	位 置		versity) 战県仙台市	     青葉区/	小松島四	丁目4番	1 号						
大	学	の 目	的	を行いび薬剤	、専門的 別師並びに	りな知識。 こ医学と	と能力及 薬学の領	び高い倫理	里性を身 バる生命	薬学に関す ₹につけた 浄科学に関 トる。	高度医療	寮を支える	5医師及		
新	設 学	部等の	目的	地域图 究者。	医療の課題 または高原	夏解決に「 医専門職業	向けて不	断の努力で		を地域社 且むことが					
立仁	新設	学部等	の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位とは称号		開設時期及び開設年と		所 在	地		
等の	(Gra Medio 医学	学専攻 PhD Progra zine)		4	10	年次 人 -	人 40	博士(医 (Doctor Philoso in Medicin	学) c of phy	令和5年4月 第1年次	国 宮城	県仙台市' 室一丁目:		【基礎と 部】医学 科 第14条特 施	半部医学
		計		-	10	_	40								
更		者内におり 状 移行,名類 等	況					該当	なし						
教育	新	設学部等の	り名称	=	# <del>*</del>			・目の総数	ı <b>I</b>	⇒I	卒	業要件単位	立数		
課程	医气	学研究科医	学専攻	1	構義     49   科目	演習 8	科目	実験・実習 科		計 57 科目			30		
		学	部等	0 2	 名 称		+// J=5	V//. +V/.  ==		教員等	=1	II 11 -	兼任		
教	新	医学研究	科 医学	専攻(	博士課程	)	教授 42 人 (42)	准教授 35 人 (35)	講師 18 人 (18)	助教 、 0 人 (0)	計 95 人 (95)		教員等 9 人 (9)		
員	設			計			42	35	18	0	95	0	_		
組	<u>分</u> 既	薬学研究	科 薬学		博士課程	)	(42) 18 (18)	(35) 9 (9)	(18) 12 (12)	(0) 12 (12)	(95) 51 (51)	(0) (0)	0 (0)		
織		薬学研究	科 薬科	学専攻	(博士前	期課程)	9 (9)	7 (7)	7 (7)	6 (6)	29 (29)	0 (0)	0 (0)		
Ø Imr	設	薬学研究	科 薬科	学専攻	(博士後	期課程)	9 (9)	7 (7)	7 (7)	6 (6)	29 (29)	0 (0)	0 (0)		
概一	分			計			27 (27)	16 (16)	19 (19)	18 (18)	80 (80)	0 (0)	- -		
要		<u> </u>	合	計			69 (69)	51 (51)	37 (37)	18 (18)	175 (175)	0 (0)			
			職	種			専	任		兼任		計	<u> </u>		
教員	:	事	務	聙	È	員		206 206)	人	47 (47)	人	253 (253			
以外の		技	術	聙	ŧ	員		982 982)		212 (212)		1, 19 (1, 19			
職員		図 書	館具	事 門	職	員		4 (4)		0 (0)		4 (4)			
の概		そ の	他	Ø	職	員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
要			章 □	+				, 192 , 192)		259 (259)		1, 45 (1, 45	51		

			_				-		Ι,	,			共	用する	が他の	П		-1.	
校			<u> </u>	分			専	用	ŧ	ţ	用			校等の				計	
		校			也		-	140. 35 m²		-		m²		_		m²		4, 140. 35 m <sup>2</sup>	
地			動場		也			047. 00 m <sup>2</sup>		_		m²				m²		8, 047. 00 m <sup>2</sup>	
		小			<del> </del>			187. 35 m²		_		m²		_		m ²		2, 187. 35 m <sup>2</sup>	
等		そへ	の		也			355. 02 m <sup>2</sup>		_		m²				m <sup>r</sup>		4, 355. 02 m <sup>2</sup>	
		合		Ē	<u></u>			542. 37 m²		_		m²	#:	<u>-</u> 用する		mř		6, 542. 37 m <sup>2</sup>	
		14		^			専	用		ţ	用			校等の				計	
		校	Î	舎				037. 95 m²		_		m²		_		m²		4, 037. 95 m <sup>2</sup>	
			244	. عد عد		(1	134, 037		(	- FA		m²)	(	- tn -m 2)		2)		37. 95 m²)	1 32 6 41
±/+	宦等		誦	義室			演習	'圣	夫	・胰ラ	実習室	臣	情報	処埋与	全習施言	) 室		学習施設 - 室	大学全体
新	E守				37室			33室				42室	(	前助職員		土		職員−人)	
								新設学部	等の名	称			(III	11-02-11403	室		数	INS / ()	
専	任	教	員可	开究	室				研究科						42	2		室	
						図書			ř雑誌					相酶值	音 答料:	桦林	或・器具	標本	
	新割	2学	部等の	名称	[5	ち外	国書〕 冊		[書国本	重		ジャー ち外国		Durberg		1/34 1/3			学部単位での特 定不能のため、
図					1	49, 2			660	里		ウクト国 11,460			点		点		大学全体の数
書・		医学	研究和	<b></b>	[(	63, 70	00)	[10,	442]		[	9, 900	)	55	90	5	5, 300	40	
設		_ •	,,,,_,			132, 3, 36			2, 603 884])			(11, 40 , 842)		(58	34)	(4	4, 343)	(28)	
備					1	48, 0	000	1, 200	[540]	Ì		10, 500	)	59	90	5	5, 300	40	
			計			61, 00 132,			, 190			9, 000] (10, 25		(=0	21)	()	1 0 40)	(28)	
					[5]	1,602		[54	0])			, 732)		(58			4, 343)		1 22 4 44
		図書	館				面積 2,490r	n²			兇	覧座席 203	1 数		収	納	可 能 19.8万f		大学全体
		図書館 本育館					面積	11					官以外	のスオ	ピーツが	施設	13.0万	III	
	ſ	本育	館			2	, 496. 3	5 m²		ラ	ーニス	(コー			, ,	, ,	-		
				区 分	<u> </u>	開設	设前年度	第1年	次 第	2年	F次	第3	年次	第4	年次	第	5年次	第6年次	研究費は研究科単位での 算出不能なため、学部と
		ŀ	教員1/	人当り研	肝究費等		$\overline{}$	400千日	円 40	00千	-円	400	千円	400	千円		_	_	の合計 図書購入費、設備購入費
奴 弗	A の の	費員	出 同	研究	費等		$\overline{}$	5,000千	-		-						_	_	は研究科単位での算出不能なため、学部との合計
見積	り 積	· り ト	図 書			1	100壬田	48, 1007									_		図書費には電子ジャーナル・ データベースの整備費(運用 コスト含む)を含む。
及び持方		F						-											- 105/ 205
の概	要					Ĺ		20,000								- /	-	- # 0 F V	
			(1人) (1人) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (7) (8)<			1年) 0千円		第2年次 400千円			年次 千円		第4 <sup>年</sup> 400千		第5	) 牛	· 伙	第6年次	
						- ' '	よの概要		大学等組						<b>7</b> 入 4	維山	7 入 筌		
	大	学	<i>O</i>	名			科薬科		7 (1 /1/):	工 1113	, <sub>2</sub> , III.	1-73 312 (	94/11	XE/13-0	~/ ( //	η <b>μ</b> . [7	., (1		
	学音	招 :	等の	名	<sub>私</sub> 修	業	入学	編入学	収容			位又	定		開設		所	在 地	
	, ,	119	1,1 ->	- 14	竹 年	年 年	<u>定員</u> 人	定 員 年次	定員	人	は	称号	赵	3過率 倍	年度		721	12 70	
						1	, ,	人						П					
	医学	部																	
								_											
																		山台市青葉	
	E A	쓰쇼!					100		600	ح ا	<u>~</u> .	(医学	\   .	1 00	平成2			5四丁目4番 ~2年次)	
	医-	学科			6		100		600	-	子工	(医学	<i>)</i>   .	1.00	年度			宮城野区福 目15番1号	
																		6年次)	
既																			
設	薬学	部																	
大学								_							平成1			山台市青葉	
等	薬	学科			6		300		1800	=	学士	(薬学	)   :	1.04	年度			5四丁目4番 1号	
の状	,,	∧ - <del></del>	イリング・ヘ	ı			6.0	_		Ä	学士				平成1	8		·	令和4年度入学
況	生色	市楽	科学科	r	4		30		120		(薬和	斗学)	(	0. 61	年度		Ē	司上	定員減(△10人)

1 1	1	I	Ī	i	ı	Ī	ı	I	
薬学研究科									
薬学専攻	4	3	_	12	博士 (薬学)	0. 73	平成24 年度	宮城県仙台市青葉 区小松島四丁目4番 1号	
薬科学専攻 博士前期課程	呈 2	20	-	40	修士 (薬科学)	0. 28	平成22 年度	同上	
薬科学専攻 博士後期課程	呈 3	3	-	9	博士 (薬科学)	0.83	平成24 年度	同上	
大学全体	-	456	_	2581	-	-		-	
	目 的	2013 (	もび臨床∌ 〒宮城野▷ 昭21)年5 平25)年4	ミ習 区福室一 月宮城第 月東北薬		多行及び	名称変更	- 厚生年金病院へ改 床	
附属施設の概要									

1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。

規 模 等: 敷地面積17,572㎡、建物延床面積19,923㎡、127床

設置年月:1979(昭54)年12月日本電信電話公社東北逓信病院、1985(昭60)年4月NTT東 北逓信病院へ改称、1999(平11)年7月NTT東日本東北病院へ改称、2016(平28)年4月東北 医科薬科大学 若林病院へ移行及び名称変更

2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとすること。

称:東北医科薬科大学 若林病院 的:診療及び臨床実習

所 在 地:仙台市若林区大和町二丁目29番1号

- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

名日

6 空欄には、「一」又は「該当なし」と記入すること。

## 学校法人東北医科薬科大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度	 編入学 定員	 令和5年度
中华历史诗艺士员		古北佐到蓝利士

	,_,	,_,	
東北医科薬科大学 薬学部 薬学科(6年制) 生命薬科学科	300 30	- -	1800 120
医学部 医学科	100	-	600
計	440		2520
東北医科薬科大学大学院			
┃ ┃ 薬学研究科 ┃ 薬学専攻(4年制D)	3		12
業子等攻(4年前D) 薬科学専攻(M)	20		40
業科子等政(M) 薬科学専攻(D)	3		40 9
采竹子寻玖(D)	3		9
計	26		61

	定員	定員	定員	
東北医科薬科大学 薬学部				
薬学科(6年制)	300	-	1800	
生命薬科学科	30	-	120	
   医学部				
医学科	100	_	600	
計	440		2520	
東北医科薬科大学大学院				
<u>医学研究科</u>				研究科の設置(認可申請)
<u>医学専攻</u> (4年制D)	<u>10</u>		<u>40</u>	
   薬学研究科				
薬学専攻(4年制D)	3		12	
薬科学専攻(M)	20		40	
薬科学専攻(D)	3		9	
計	<u>36</u>		<u>101</u>	

入学 編入学 収容

			教 育	課	租	呈	<b>4</b>	ŧ	σ.	)	相	<b>T</b>	要			
()	学	烷医5	学研究科 医学専攻 博士課程)   			単位数	ζ	ź	受業形態	能		専任教	数員等(	の配置	ı	
	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実	教授	准教授	講師	助教	助手	備考
-	共		生命倫理・研究倫理概論	1前	2			0		習	2	1				兼1 オムニバス
	通											1	0			兼2 オムニバス・ #2 オムニバス・ #回
	科目		研究方法概論	1前	1			0			11	1	2			1 200
	П		医学統計学・医学統計演習	1前	1				0		2					オムニバス
			医学英語	1前	1			0			4	2	1			共同 (一部)
			地域医学総論	1前	2			0			3	2				兼1 オムニバス
			地域医学各論	1後		1		0			2	2				オムニバス
			橋渡し研究・臨床試験各論	1後		1		0			2					兼6 オムニバス
#	Act.	甘	小計 (7科目)	-	7	2	0		_		17	4	2	0	0	兼9
専門	特論	Z***	細胞生物学特論	1前		2		0			1	1				オムニバス
科	論科	医	組織解剖学特論	1前		2		0			1					-
目	目	.1	生理学特論	1前		2		0			1					
		域	神経科学特論 薬理学特論	1前 1前		2		0			1	1				オムニバス
			病理学特論	***		2		0			1	1				オムニバス
			医化学特論	1前 1前		2		0			1		1			オムニバス
			微生物学特論	1前		2		0			1	1	1			オムニバス
			免疫学特論	1前		2		0			1	1	1			オムニバス
			放射線基礎医学特論	1前		2		0			1	1	1			オムニバス
		臨	循環器内科学特論	1前		2		0			1	1	1			オムニバス
		床	呼吸器内科学特論	1前		2		0			2	1	1			オムニバス
		医	消化器内科学特論	1前		2		0			1	2	2			・ オムニバス・ 共同 (一部)
		領	糖尿病代謝內科学特論	1前		2		0				1				- 契岡( 即)
		域	腎臓内分泌内科学特論	1前		2		0			1	1				オムニバス
			血液学特論	1前		2		0			1		3			オムニバス・
				****								0	3			共同(一部)
			臨床免疫学特論 脳神経内科学特論	1前 1前		2		0			1	2	3			オムニバス オムニバス
			腫瘍内科学特論	1前		2		0			1	1	ა			
			精神科学特論	1前		2		0			1	3	1			オムニバス
			小児科学特論	1前		2		0			1	1	1			オムニバス
			肝胆膵外科学特論	1前		2		0			1	1				オムニバス
			消化器外科学特論	1前		2		0			1	1	1			オムニバス
			呼吸器外科学特論	1前		2		0			1	2	2			オムニバス
			乳腺・内分泌外科学特論	1前		2		0			1	1				オムニバス
			心臟血管外科学特論	1前		2		0			1	1				オムニバス
			脳神経外科学特論	1前		2		0			1	1				オムニバス
			皮膚科学特論	1前		2		0			1	1				オムニバス
			耳鼻咽喉科学特論	1前		2		0			1	1				オムニバス
			産婦人科学特論	1前		2		0			1	2				オムニバス
			泌尿器科学特論	1前		2		0				1	1			オムニバス
			形成外科学特論	1前		2		0			1		1			オムニバス
			放射線医学特論	1前		2		0			1					
			臨床検査医学特論	1前		2		0			1		1			オムニバス
			免疫アレルギー病態学特論	1前		2		0			2	2				オムニバス

								単位数	ζ	擅	受業形	態		専任教	女員等(	の配置			
	科 E 区 5		授業科	・目の名称		配当年次	必	選	自	講	演	実験・	教	准教	講	助	助		備考
							修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手		
専門	特	社へ	地域医療管理学特	特論		1前		2		0			1						
科	論科	会地	疫学特論			1前		2		0			1						
目	目	域	法医学特論			1前		2		0			1						
続続	(続	医学	地域医療学特論			1前		2		0			1	2					オムニバス
形 き )	脱き)	領	整形外科学特論			1前		2		0			1	1					オムニバス
	)	域	リハビリテーシ	ョン学特論		1前		2		0			1		1				共同
			感染症学特論			1前		2		0			1	1					オムニバス
			腫瘍疫学特論			1前		2		0			1						
	Val.	Aug 4de	小計(43科目)			-	0	86	0		_		42	35	18	0	0	0	
	演習科目	領域医学	基礎医学演習			1後		2			0		10	5	2				
		領臨床医学	臨床医学演習			1後		2			0		24	26	15				
	医社 学会 領地 社会地域医学演習 城城					1後		2			0		8	4	1				
			小計(3科目)			_	0	6	0		_		42	35	18	0	0	0	
		特	特別研究I			1通	4				0		42	35	18				
		別 研	特別研究Ⅱ			2通	4				0		42	35	18				
		究	特別研究Ⅲ			3通	4				0		42	35	18				
		科	特別研究IV			4通	4				0		42	35	18				
		目	小計(4科目)			_	16	0	0		_		42	35	18				
			合計(57科目)	)		_	23	94	0		_		42	35	18	0	0	兼9	
		学位	又は称号	博	士(医	学)	学	位又	は学科	斗の分	野		<u> </u>		医	学関係	系		
		卒	業要	件 及	び	履修	方	` 注	=					1	授業期	開等			
1) ] ・ <u>共</u> ・特	通科 論科	の科目 <u>目</u> :必 <u>目</u> :主	により合計30単位. 修5科目7単位と選 として専攻する領域	斗目)と主とし	8単位. て専攻	以上	域及ひ	他の		1 学年	きの学:	期区分	<del>}</del>				2学期		
領域 • <u>海</u> • <u>特</u> 2) 荷	領域の1科目2単位(副科目)以上を含み2科目4単位以上 ・ <u>演習科目</u> :特論科目(主科目)と同一領域の1科目2単位を含み1科目2単位以上 ・ <u>特別研究科目</u> :必修4科目16単位 2)研究指導スケジュールに則り研究指導を受けた上、学位論文の審査、最終試験及び 確認に合格すること。											1 学期	明の授	業期間	—————————————————————————————————————				15週
		科目:特論科目(主科目)と同一領域の1科目2単位を含み1科目2単位以上  研究科目:必修4科目16単位 究指導スケジュールに則り研究指導を受けた上、学位論文の審査、最終試験及で										1 時限	見の授	業時間					90分

## 別記様式第2号(その2の1)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

										日本]			1 T MM	(土)	
	教育	課	1	呈	4	手	0	D	柑	兓	妻	Ē			
(医学	<b>学</b> 部医学科)														
			<u>i</u>	単位数		授	受業形	態		専任教	数員等(	の配置			
4N D								実							
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	験	教	准教	講	助	助	f	備考
			修	択	由	義	習	実	授	授	師	教	手		
	倫理学	1 34	-					習						<del>**</del> 1	
	価理子 心の科学	1前 1前	1 1			0								兼1 兼2	
	現代社会と人間	1前	1			0				1				¥:1 ×	ナムニバス・
										1				, ,	共同(一部) ナムニバス・
	大学基礎論	1前	1			0		_	1					#\12 ±	共同(一部)
	スポーツ科学(体育実技)	1前	1	,				0						兼3	
	哲学 経済学	1後		1		0								兼1	
	法学	1後 1後		1 1		0								兼1 兼1	
	科学と歴史	1後		1		0								兼1	
	人と文化	1後		1		0								兼3	
	文章論	1後		1		0								兼2	
基	からだと健康	1後		1		0								兼3	
礎 教	数学 I (基礎編)	1前	1			0								兼1	
養	数学Ⅱ (応用・統計編)	1後	1			0								兼1	
科	医学英語 I	1前	1			0								兼2	
目	医学英語Ⅱ	1後	1			0								兼2	
	医学英語Ⅲ	2前	1			0								兼2	
	医学英語IV	2後	1			0								兼2	
	医学英語V	3前	1			0			1					兼2	
	医学英語VI	3後	1			0			1					兼2	
	ドイツ語 I	1前		1		0								兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1後		1		0								兼1	
	フランス語 I	1前		1		0								兼1	
	フランス語Ⅱ	1後		1		0								兼1	
	中国語I	1前		1		0								兼1	
	中国語Ⅱ 小計 (26科目)	1後 —	1.0	1		0	_		0	,	0	0		兼1	
	(9001) 基礎物理学	 1前	13	13		0			2	1	0	0	0	兼26 兼1	
	【9002】基礎化学	1前	1			0			1	1	1	1		z	ナムニバス・
											1				共同(一部) ナムニバス・
準	【9003】基礎生物学	1前	1			0			3	2		2		ŧ	共同(一部)
備教	【9004】情報科学	1前	1			0								兼4	
育	【9005】行動心理学	1前	1			0								兼1	
科	【9006】基礎物理学実習	1前	0.5					0	1	1		1		兼3	
目	【9007】基礎化学実習	1前	0.5					0	1		1	3			
	【9008】基礎生物学実習	1前	0.5					0	3	2		5		<b>*</b> 4	
	【9009】情報科学実習 小計 (9科目)	1前 —	0. 5 7				_	0	G	3	1	7	0	兼4 華o	
	1.bl (ALL D)	_	1				_		6	3	1	(	U	兼8	

	Face of the SV limits			1					I				1	.,	オムニバス・
	【1000】医学概論	1前	1			0			3					兼1	共同(一部)
	【1001】医療安全学	1後	1			0				1				l .	オムニバス・
基	【1002】医療コミュニケーション学	1後	1			0			4	1		1		兼4	共同(一部)
本事	【1003】患者安全・医療倫理学	4前	1			0				1				兼1	
項	【1004】早期医療体験学習	1前	1					0	3	1	2	6		兼7	
	【1005】チーム医療体験学習	1後	1					0	6	3	5	3		兼4	
	【1006】課題研究 小計 (7科目)	3通	10				_	0	2 11	4	7	10	0	兼16	
-	【2000】衛生学									4	1	10	0	来10	オムニバス・
		1後	1			0			1			2		<del>}/-</del> -	共同 (一部)
	【2001】地域医療学	2前	1			0				1				兼1	オムニバス・
	【2002】介護・在宅医療学	2後	1			0			1	1				兼3	共同 (一部)
	【2003】公衆衛生学	2後	1			0			1			2			オムニバス・ 共同 (一部)
社	【2004】医事法学	3前	1			0			1	1		3			オムニバス・ 共同 (一部)
会医	【2005】医療管理学	3後	1			0			1						
学	【2006】法医学	3後	1			0			1			2		兼2	オムニバス
	【2007】衛生学体験学習	1後	1					0	1			2		兼1	
	【2008】僻地·被災地医療体験学習 I	2前	0.5					0	2	2	1	8			
	【2009】僻地·被災地医療体験学習Ⅱ	3前	0.5					0	2	2		6			
	【2010】介護・在宅医療体験学習	2後	1					0	2	2	3	6		.,	
	小計 (11科目)	_	10				_		5	3	4	19	0	兼7	*
	【3000】細胞生物学	1後	1			0			1	1	1				オムニバス・ 共同
	【3001】遺伝学	2前	1			0			1		1	1			オムニバス・ 共同 (一部)
	【3002】医化学	1後	2			0			1		1	1		兼2	オムニバス・ 共同 (一部)
	【3003】免疫学	2後	1			0			1	1	1	1			オムニバス・
	【3004】放射線基礎医学	1後	1			0			2	1	1	1		兼1	共同 (一部) オムニバス
	【3004】	2前	2			_						1		₩1	オムニバス・
						0			1	1					共同 (一部) オムニバス・
	【3006】神経解剖学	2前	1			0			1			1			共同 (一部)
	【3007】組織学	2前	1			0			1			1			オムニバス・ 共同 (一部)
	【3008】発生学	1後	1			0			1			2		兼1	オムニバス・ 共同 (一部)
	【3009】微生物学 I	2前	1			0			1	1					オムニバス・
基	【3010】微生物学Ⅱ	2前	1			0			1	1					共同(一部) オムニバス・
礎										1					共同(一部) オムニバス・
医学	【3011】生理学	2後	3			0			1			2			共同 (一部)
,	【3012】神経生理学	2後	1			0			1	1		1			オムニバス・ 共同 (一部)
	【3013】薬理学	2後	2			0			1	1				兼2	オムニバス
	【3014】病理学	3前	2			0			1	1	1	2		兼2	オムニバス・ 共同 (一部)
	【3015】免疫学実習	2後	1					0	1		1	1			
	【3016】医化学実習	1後	1					0	1		1	1			
	【3017】放射線基礎医学体験学習	1後	1					0	2	1		1		兼3	
	【3018】解剖学実習	2前	5					0	1	1		1		兼5	
	【3019】微生物学実習 【2020】知樂学宝羽	2前	1					0	1	1		1		兼1	
	【3020】組織学実習 【3021】薬理学実習	2前 2後	1 1					0	1 1	1		1 1			
	【3022】 生理学実習	2後	1					0	2	1		3			
	【3023】病理学実習	3前	2					0	1	1	1	2		兼1	
	小計 (24科目)	-	35				_		11	7	3	12	0	兼16	
	【4000】呼吸器学(内科・外科)	2後	3			0			9	2				兼1	オムニバス・ 共同(一部)
	【4001】腎・泌尿器学	2後	2			0			2	1	3				オムニバス・
															共同(一部) オムニバス・
	【4002】循環器学(内科・外科)	2後	3			0			2	2	4				共同 (一部)
	【4003】消化器学(内科・外科)	2後	3			0			3	5	3				オムニバス・ 共同 (一部)
	【4004】神経学(内科・外科)	3前	3			0			3	2	1			兼3	オムニバス・ 共同 (一部)
	【4005】精神科学	3前	1			0			1	3	1	1			オムニバス・
1			I	I	I				U	I	ı	I	I	I	共同 (一部)

	【4006】内分泌学・代謝学	3前	2			0			3	2	2				オムニバス・ 共同 (一部)
	【4007】産科学・婦人科学	3前	2			0			1	3	1	1		兼1	オムニバス
	【4008】小児科学	3前	2			0			1	1	2			兼5	オムニバス・ 共同(一部)
	【4009】整形外科学	3前	2			0			3	3				兼1	オムニバス
	【4010】全身管理学	3前	1			0			2	1					オムニバス
	【4011】麻酔学	3前	1			0					1				オムニバス・ 共同 (一部)
not.	【4012】臨床免疫・アレルギー学	3後	1			0				2				兼1	オムニバス
臨床	【4013】血液学	3後	2			0			1		2			兼1	オムニバス
医	【4014】皮膚科学	3後	1			0			1	1					オムニバス
学	【4015】眼科学	3後	1			0			1	1					オムニバス
	【4016】耳鼻咽喉科学	3後	1			0			2	2	1	2		兼3	オムニバス・ 共同 (一部)
	【4017】放射線医学	3後	2			0			2					兼4	オムニバス
	【4018】災害医療学	3後	1			0				1		1			オムニバス
	【4019】環境疾病学	3後	1			0			2	1				兼1	オムニバス
	【4020】乳房外科学	3後	1			0			2	1					オムニバス
	【4021】臨床検査学 【4022】 ### ###	3後	1			0			2	1	1			<del>}/-</del> 0	オムニバス
	【4022】感染症学	3後	1			0			1	1				兼2	オムニバス オムニバス・
	【4023】臨床薬理学	4前	1			0			1	2				兼2	共同(一部)
	【4024】腫瘍学	4前	1			0			3						オムニバス オムニバス・
	【4025】高齢者医学	4前	1			0			1	1		2		兼1	共同(一部)
	【4026】救急・災害医療体験学習	3後	1				_	0		1		9			
	【4027】被ばく医療演習	3後	0.5				0		3	2	1	5		兼5	
	【4028】臨床分子遺伝学	4前		1		0			6	2				兼1	オムニバス オムニバス・
	【4029】移植医療学	4前		1		0			4		3				共同 (一部)
	【4033】救急医療学 【4034】医療薬	3前	1			0				1				<b>→</b>	
	【4034】医療薬学概論 小計(32科目)	3前	1	2		0	_		40	38	24	10	0	兼7	
前			44. 5								24	19	0	兼39	オムニバス・
臨	【4030】症候学	4前	3			0			13	9					共同 (一部)
床実	【4031】基礎-臨床統合演習 【4032】基本的診療技能	4前 4前	19 2				0		34 23	14 10	3 8			<b></b>	
習	小計 (3科目)	4刊 —	24				_	0	38	19	9	0	0	兼1 兼1	
	【5000】総合診療学演習	6前	6				0		25	30	25	17		////1	
臨	【5001】診療科臨床実習	4後~5後	64					0	35	40	39	76			
床	【5002】地域総合診療実習	6前	2					0	1	2	00	2			
実習	【5003】地域包括医療実習	6前	4					0	1	2		2			
	小計 (4科目)	_	76				_		35	40	39	76	0	0	
義統	【6001】統括講義	6後	36			0			34	13					オムニバス・
括講	小計 (1科目)	-	36				_		34	13	0	0	0	0	共同 (一部)
птт	合計 (117科目)	_	255. 5	15	0		_		49	49	43	98	0	兼110	
学	位又は称号 学士(医学)					·の分野	<b></b>					学関係	_	,,,	<u> </u>
	卒業要件及び		多 方								授業期				
	255. 5単位 7単位以上							1 学年	三の学:	期区分	<del>}</del>				2期
(基礎:	・予定の上 教養科目の外国語以外の選択科目から4単位以上、外国 子遺伝学、移植医療学の2科目の中から1単位以上)	語選択科目か	51科目2単	位以上、				1 学其	明の授	業期間					15週
	丁堰14子、移植区原子の2代日の中から1年位以上) 262.5単位以上修得すること								見の授						70分
(注)							<b>.</b>	7.7		• 11	-				

(注)

<sup>1</sup> 学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には,授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。

<sup>2</sup> 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

<sup>3</sup> 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。

<sup>4 「</sup>授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

小松島キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

								() <del>1</del> ,	紙	口平.	上未入	兄俗上	14統	で至り	
	教育	課	₹	锃	4	<b>等</b>	(	カ	ħ.	既	5	要			
(医学	学部医学科)														
(区)	-		í	単位数		12	受業形	16	1	亩 仁. 刦	4日华	の配置	ı	1	
			1	14世級		1>	(未形)	実		守任犯	以貝守	が配画	T	4	
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	験	教	准	講	助	助		備考
区分	33,811,811		l/c	+0	н	辛	習		450	教 授	台本	±/-	<b>-</b>		VII. 3
			修	択	由	義	首	実習	授	1文	師	教	手		
	倫理学	1前	1			0								兼1	
	心の科学	1前	1			0								兼2	
	現代社会と人間	1前	1			0				1				兼1	オムニバス・ 共同 (一部)
	大学基礎論	1前	1			0			1					兼12	オムニバス・ 共同(一部)
	スポーツ科学(体育実技)	1前	1					0						兼3	共同(一部)
	哲学	1後	•	1		0		0						兼1	
	経済学	1後		1		0								兼1	
	法学	1後		1		0								兼1	
	科学と歴史	1後		1		$\circ$								兼1	
	人と文化	1後		1		0								兼3	
基礎	文章論	1後		1		0								兼2	
教	からだと健康	1後		1		0								兼3	
養科	数学I(基礎編)	1前	1			0								兼1	
目	数学Ⅱ (応用・統計編)	1後	1			0								兼1	
	医学英語 I 医学英語 II	1前	1			0								兼2 ***	
	医学英語Ⅲ	1後 2前	1 1			0								兼2 兼2	
	医学英語IV	2後	1			0								兼2	
	ドイツ語 I	1前	1	1		0								兼1	
	ドイツ語 II	1後		1		0								兼1	
	フランス語 I	1前		1		0								兼1	
	フランス語Ⅱ	1後		1		0								兼1	
	中国語 I	1前		1		0								兼1	
	中国語Ⅱ	1後		1		0								兼1	
	小計 (24科目)	_	11	13			_		1	1	0	0	0	兼23	
	【9001】基礎物理学	1前	1			0								兼1	41 - **
	【9002】基礎化学	1前	1			0			1	1	1	1			オムニバス・ 共同(一部)
進	【9003】基礎生物学	1前	1			$\circ$			3	2		2			オムニバス・ 共同(一部)
備	【9004】情報科学	1前	1			0								兼4	
教育	【9005】行動心理学	1前	1			0								兼1	
科	【9006】基礎物理学実習	1前	0.5					0	1	1		1		兼3	
目	【9007】基礎化学実習	1前	0.5					0	1		1	3			
	【9008】基礎生物学実習	1前	0.5					0	3	2		5		.,	
	【9009】情報科学実習	1前	0.5					0			-	_	_	兼4	
	小計 (9科目)	-	7				_		6	3	1	7	0	兼8	オムニバス・
	【1000】医学概論	1前	1			0			3					兼1	共同(一部)
基	【1001】医療安全学	1後	1			0				1					L
本事	【1002】医療コミュニケーション学	1後	1			0			4	1		1		兼4	オムニバス・ 共同 (一部)
争 項	【1004】早期医療体験学習	1前	1					0	3	1	2	6		兼7	
	【1005】チーム医療体験学習	1後	1					0	6	3	5	3		兼4	
	小計(5科目)	_	5				_		11	4	7	10	0	兼15	

		-						-			1	1		1	1,,
	【2000】衛生学	1後	1			$\circ$			1			2			オムニバス・ 共同 (一部)
	【2001】地域医療学	2前	1			0				1				兼1	
社	【2002】介護・在宅医療学	2後	1			0			1	1				兼3	オムニバス・ 共同(一部)
会医	【2003】公衆衛生学	2後	1			0			1			2			オムニバス・ 共同 (一部)
学	【2007】衛生学体験学習	1後	1					$\circ$	1			2		兼1	
	【2008】僻地·被災地医療体験学習 I	2前	0.5					0	2	2	1	8			
	【2010】介護・在宅医療体験学習	2後	1					0	2	2	3	6			
	小計 (7科目)	-	6. 5			0	_		3	2	4	13	0	兼5	オムニバス・
	【3000】細胞生物学	1後	1			0			1	1	1				共同 共同 オムニバス・
	【3001】遺伝学	2前	1			0			1		1	1			共同 (一部)
	【3002】医化学	1後	2			0			1		1	1		兼2	オムニバス・ 共同 (一部)
	【3003】免疫学	2後	1			$\circ$			1	1	1	1			オムニバス・ 共同(一部)
	【3004】放射線基礎医学	1後	1			0			2	1				兼1	オムニバス
	【3006】神経解剖学	2前	1			$\circ$			1			1			オムニバス・ 共同 (一部)
	【3007】組織学	2前	1			$\circ$			1			1			オムニバス・ 共同 (一部)
基	【3008】発生学	1後	1			0			1			2		兼1	オムニバス・ 共同 (一部)
礎	【3009】微生物学 I	2前	1			0			1	1					オムニバス・ 共同 (一部)
医学	【3011】生理学	2後	3			0			1			2			オムニバス・ 共同 (一部)
	【3012】神経生理学	2後	1			0			1	1		1			オムニバス・ 共同 (一部)
	【3013】薬理学	2後	2			0			1	1				兼2	共向 (一部) オムニバス
	【3015】免疫学実習	2後	1					$\circ$	1		1	1			
	【3016】医化学実習	1後	1					$\circ$	1		1	1			
	【3017】放射線基礎医学体験学習	1後	1					0	2	1		1		兼3	
	【3019】微生物学実習	2前	1					0	1	1		1		兼1	
	【3021】薬理学実習	2後	1					0	1	1		1			
	【3022】生理学実習	2後	1				_	0	2	1	0	3	0	<del>**</del> 10	
	小計(18科目) 【4000】呼吸器学(内科・外科)		22			0	_		10	5	2	10	0	兼10	オムニバス・
m+t-		2後	3			0			9	2				兼1	共同(一部) 共同(一部) オムニバス・
臨床	【4001】腎・泌尿器学	2後	2			0			2	1	3				共同 (一部)
医	【4002】循環器学(内科・外科)	2後	3			0			2	2	4				オムニバス・ 共同 (一部)
学	【4003】消化器学(内科・外科)	2後	3			0			3	5	3				オムニバス・ 共同 (一部)
	小計(4科目)	-	11				_		16	10	10	0	0	兼1	
	合計 (67科目)	-	62. 5	13.0	0.0		-		35	20	18	34	0	兼59	
学	位又は称号 学士(医学)		学位又は学科の分野				野				医	学関	係		
	卒業要件及び	履修方法				授業				授業期	期間等	;			
	255. 5単位 7単位以上					1 学年の学期区分					2期				
(基礎	7単位の上 教養科目の外国語以外の選択科目から4単位以上、外  子遺伝学、移植医療学の2科目の中から1単位以上)	国語選択科目 /	から1科目2	単位以上	`		1 学期の授業期間				15週				
	262.5単位以上修得すること						1	1 時限	の授	業時間	引				70分

(注)

<sup>1</sup> 学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には,授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。

<sup>2</sup> 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

<sup>3</sup> 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。

<sup>4 「</sup>授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

福室キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

	(用紙 日本工業規格A4縦型											型)			
	教 育	課	程		等		の		概		要				
(医学	学部医学科)				•		-				- `				
(医子	一部医学科)		7	単位数		45	0 ₩ π< <del>1</del>	alici	I =	日イギ	女員等	のませ	포	1	
				₽仏剱		13	受業形態			子士的	以貝寺	の間に			
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区分	2		l/c	+0	т.	关	য়য	•	407	教 授	台本	±4.	<b>x</b> .		•
			修	択	由	義	習	実習	授	1文	師	教	手		
養基	医学英語V	3前	1			0			1					兼2	
科礎	医学英語VI	3後	1			0			1					兼2	
目教	小計(2科目)	_	2			_	_	ı	1	0	0	0	0	兼4	
項基本	【1003】患者安全・医療倫理学	4前	1			0				1				兼1	
事	【1006】課題研究 小計(2科目)	3前~3後	4 5				_	0	2	1	0	0	0	兼1	
	【2004】医事法学	3前	1			0			1	1	0	3	0	NK1	オムニバス・
社	【2005】医療管理学	3後	1			0			1	1					共同 (一部)
会医	【2006】法医学	3後	1			0			1			2		兼2	オムニバス
学	【2009】僻地・被災地医療体験学習 II	3前	0.5					0	2	2		6		71102	
	小計 (4科目)	_	3.5				_		4	3	0	9	0	兼2	
	【3001】遺伝学	2前	1			0			1		1	1			オムニバス・ 共同 (一部)
	【3005】解剖学	2前	2			0			1	1		1			オムニバス・ 共同 (一部)
	【3006】神経解剖学	2前	1			0			1			1			オムニバス・
										١.		1			共同 (一部) オムニバス・
基礎	【3009】微生物学 I	2前	1			0			1	1					共同 (一部) オムニバス・
医	【3010】微生物学Ⅱ	2前	1			0			1	1					共同 (一部)
学	【3014】病理学	3前	2			0			1	1	1	2		兼2	オムニバス・ 共同 (一部)
	【3018】解剖学実習	2前	5					0	1	1		1		兼5	
	【3020】組織学実習	2前	1					0	1			1		<del></del>	
	【3023】病理学実習 小計 (9科目)	3前	2 16					0	1 5	3	2	2 5	0	兼1 兼7	
	【4004】神経学(内科・外科)	3前	3			0			3	2	1	J	0	兼3	オムニバス・
														JK3	共同 (一部) オムニバス・
	【4005】精神科学	3前	1			0			1	3	1	1			共同 (一部) オムニバス・
	【4006】内分泌学・代謝学	3前	2			0			3	2	2				共同 (一部)
	【4007】産科学・婦人科学	3前	2			0			1	3	1	1		兼1	オムニバス
	【4008】小児科学	3前	2			0			1	1	2			兼5	オムニバス・ 共同 (一部)
	【4009】整形外科学	3前	2			0			3	3				兼1	オムニバス
	【4010】全身管理学	3前	1			0			2	1					オムニバス・ 共同 (一部)
	【4011】麻酔学	3前	1			0					1				オムニバス
	【4012】臨床免疫・アレルギー学	3後	1			0				2				兼1	オムニバス
	【4013】血液学	3後	2			0			1		2			兼1	オムニバス
	【4014】皮膚科学 【4015】眼科学	3後	1			0			1	1					オムニバス オムニバス
吃	【4016】耳鼻咽喉科学	3後	1			_			1	1	1	0		<b>*</b> ±∙0	オムニバス・
臨床	【4016】 耳鼻咽喉科字 【4017】放射線医学	3後	1			0			2	2	1	2		兼3	共同 (一部) オムニバス
医学	【4017】放射線医字 【4018】災害医療学	3後 3後	2 1			0			2	1		1		兼4	オムニバス オムニバス
子	【4010】 灰音医療子 【4019】 環境疾病学	3後	1			0			2	1		1		兼1	
	【4020】乳房外科学	3後	1			0			2	1				/11/1	オムニバス
	【4021】臨床検査学	3後	1			0			2	1	1				オムニバス
	【4022】感染症学	3後	1			0			1	1				兼2	オムニバス
	【4023】臨床薬理学	4前	1			0			1	2				兼2	オムニバス・ 共同 (一部)
	【4024】腫瘍学	4前	1			0			3						オムニバス
	【4025】高齢者医学	4前	1			0			1	1		2		兼2	オムニバス・ 共同 (一部)
		-1111	ا أ	I	I	ı		l	II ~	1	I	ı ~	I	·	共同 (一部)

		<b>炎害医療体験学習</b>	3後	1					0		1		9		ĺ	
	【4027】被ばく医		3後	0.5				0		3	2	1	5		兼5	
	【4028】臨床分子	一遺伝学	4前		1		0			6	2				/114.1	オムニバス
	【4029】移植医療	学	4前		1		0			4		3				オムニバス・ 共同 (一部)
	【4033】救急医療	<b>聚学</b>	3前	1			$\circ$				1					
	【4034】医療薬学	<b>兰概論</b>	3前	1			$\circ$								兼7	
	小計(28科目)		_	33. 5	2			_		32	28	15	19	0	兼38	
前臨	【4030】症候学		4前	3			0			13	9					オムニバス・ 共同 (一部)
床	【4031】基礎-臨	床統合演習	4前	19				0		34	14	3				
実	【4032】基本的診	<b>沙療技能</b>	4前	2					0	23	10	8			兼1	
習	小計(3科目)		_	24				_		38	19	9	0	0	兼1	
	【5000】総合診療	<b></b> (学演習	6前	6				0		25	30	25	17			
臨	【5001】診療科路	京床実習	4後~5後	64					0	35	40	39	76			
床実	【5002】地域総合	<b>冷診療実習</b>	6前	2					$\circ$	1	2		2			
習	【5003】地域包括	5 医療実習	6前	4					0	1	2		2			
	小計(4科目)		_	76				_		35	40	39	76	0	0	
統	【6001】統括講義		6後	36			0			34	13					オムニバス・ 共同 (一部)
義括 講	小計(1科目)		_	36				_		34	13	0	0	0	0	
	合計 (53	科目)	_	196.0	2.0	0.0		_		49	47	42	88	0	兼53	
学	位又は称号	学士 (医学)		学	立又に	は学科	の分野	野				Þ	[学関	関係		-
	卒業	要件及び	履	多方	注	=					ŧ	受業基	朝間等	等		
	255. 5単位 7単位以上							1	学年(	の学具	朝区分	分				2期
(基礎	教養科目の外国語以外の	D選択科目から4単位以上、外  D2科目の中から1単位以上)	ト国語選択科目から1科目2単位以上、					1 学期の授業期間				15週				
所要単位	262.5単位以上修得する	28						1	時限の	の授訓	業時	間				70分

## (注)

- 1 学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には,授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

	授	業	科	目	Ø	概	要	
(大学院医学	研究科 医学専攻 博士課	程)						1
科目 区分	授業科目の名称			講	義等の内容			備考
共通科目	生命倫理・研究倫理概論	を ((研取て (生4 (生教 (9 は)))) (100年) (100	科学・医学研究を を	≥15回) ↑科学・医学研 質性の確保)、 □) ご関する倫理( ついて教授する 回) ご関する倫理(	究に関する倫理 遺伝子を取り扱 各論1 インフォ う。 各論2 情報の耳	(総論、各論3 う研究に関する ナームド・コン 文り扱いに関し	研究結果の3倫理につい セント、各論	オムニバス方式
	研究方法概論	の ((臨く (基て (疾徴法 (遺手授 (組疫 (生析 (物析 (研手 才33床) 8礎教 35患、) 46伝法す 6織染 1理手 97質、 98究順 437分、 神研授 イモニに 27 る 中診色 上機法 分権 引費	正常に 神野 伊デンコ 生実ウ。 村断を 条能に 村が 建領に 二、渡 で 一、で 一、で 一、で 一、で で 一、で で 一、で で で で で で	「中国	)究で 共伝 )よッ 回っ ) 種。 )」 可分で )民 (の教 同子 (るク ) タン 共患 共よ (、授 共資 同類す み 同患統 共A化 )の )「 同離る )・ る 換 )モの 同で 同び 同部 同金 の介。 え デ樹 )C、糖 現 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	方法(統計解析 験、拡散防止抗 を、 が を、 が が が が が が が が が が が が が	所の詳細は除 世間 シス かの 質解で から を で で 質構 で の で で 質 構 で の で で 質 構 で の で で 質 構 で の で で 質 構 で の で で 質 構 で の で で で 質 構 で の で で で 質 構 で の で で で 質 構 で の で で で 質 構 で の で で で 質 構 で の で で で 質 構 で の で で で で で 質 情 で の で で で で で 質 常 い で で で で で で で で で で で で で で で で で で	オムニバス方式、共同

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目(続き)	医学統計学・医学統計演習	研究データを適切に解析するために、疫学研究や臨床研究でよく用いられる基本的な統計解析方法を修得する。  (オムニバス方式/全8回) (4 松坂 義哉/4回) R入門(統計パッケージを用いた適切なデータ管理)、データの要約・平均値の比較、相関と回帰、2値データの比較について教授する。  (11 目時 弘仁/4回) SAS&R入門(統計パッケージを用いた適切なデータ管理)、層別解析の基本、多変量解析の基本(重回帰分析)、多変量解析(共分散分析、多重ロジスティック回帰分析)について教授する。	オムニバス方式
	医学英語	研究成果を英語で効果的に発信するために、英語による情報の収集と発信(論文及び口頭)に必要な基本的な知識・技能を学ぶ。 (オムニバス方式、共同(一部)/全8回)(2 石田 雄介/2回)医学研究情報の収集(1 医学研究情報の発信様式および入手方法)、英語論文の種類、論文構成)、英語による情報発信(3 英語論文査読の実際)について教授する。 (46 生田 和史・2 石田 雄介/1回)(共同)医学研究情報の収集(2 目的に合わせた英語論文の収集)について教授する。 (5 岡村 信行・2 石田 雄介/1回)(共同)英語論文の抄読(1 英語論文の構成・内容の理解、当該研究の仮説と結論)について教授する。 (79 上村 聡志・2 石田 雄介/1回)(共同)英語論文の抄読(2 英語論文の構成・内容の理解、当該研究の課題・限界)について教授する。 (18 亀岡 淳一・2 石田 雄介/1回)(共同)英語論文の抄読(3 英語論文の構成・内容の理解、関連論文の収集)について教授する。 (55 大原 貴裕・2 石田 雄介/1回)(共同)英語による情報発信(1 抄読した英語論文の概要の英語による口頭発表)について教授する。 (8 神田 輝・2 石田 雄介/1回)(共同)英語による情報発信(2 英語論文作成・投稿の実際)について教授する。	オムニバス方式、 共同 (一部)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目(続き)	地域医学総論	地域医療の現状分析と課題抽出が可能となるために、地域の理解に基づき、地域医療が意味する概念とその歴史的変遷を理解する。  (オムニバス方式/全15回) (19 古川 勝敏/3回) 地域医療の概念と歴史(国内外における地域医療の歴史と概念)、地域医療支援システム(地域包括ケアシステムをはじめとした地域社会並びに地域医療を支える制度、機関)、地域医療と災害(東日本大震災で地域社会、地域医療がいかに影響を受け、その後どう展開されているか)について教授する。  (11 目時 弘仁/1回) 地域医療に於ける疫学(地域医療における情報の整理と解析に際し、いかに疫学的手法を用いるか)について教授する。  (55 大原 貴裕/1回) 地域医療におけるビッグデータ・AIの活用(ビッグデータ並びにArtificial intelligence(AI)を地域医療においていかに活用するか)について教授する。  (102 濃沼 信夫/2回) 地域医療政策学(地域医療に関する法律、行政についてその歴史と現状)、地域医療政策学(地域医療における医療経済の現状と仕組み)について教授する。  (54 住友 和弘/1回) 地域医療と入が育成(持続可能な地域と療を支えるためのソーシャルキャピタル(地域の社会力、経済力、コミュニティ力)の重要性)について教授する。  (42 伊藤 弘人/7回) 地域医療と人材育成(持続可能な地域社会の発展に寄与する自治体を含めた関係者の育成に地域医療が貢献すること)、地域医療の質の評価と改善(地域医療の質を評価する基本的観点と質改善の動向)、根拠に基づく地域医療政策(医vidence-Based Policy Making(EBPM)の基本)、地域経済循環構造と医療(情可形または二次医療圏での地域経済循環構造と医療との関係)、気候変動の影響をと地域医療の役割)、国際経済組織からみた地域医療(経済協力開発機構 (OECD) や国連世界銀行(WB)からみた地域医療への期待)について教授する。	オムニバス方式
	地域医学各論	地域医療に関連する研究を実践・展開するために。地域の理解に基づき、地域医療を遂行するにおいて必要な各種各論についての知識を修得する。  (オムニバス方式/全8回) (19 古川 勝敏/2回) 高齢者医療と地域医療(超高齢社会を迎えた日本において、地域医療の果たす役割)、地域社会における予防医学(一次予防、二次予防、三次予防等の地域における予防医学の分類、構成、内容)について教授する。  (54 住友 和弘/1回) 地域社会における生活習慣の調査とマネージメント(栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙等の調査とそれらの改善法)について教授する。  (55 大原 貴裕/1回) 地域医療を構成する人的要素、多職種連携(地域住民の健康維持増進に関わる職種(医療、保健、福祉等)について、それらの役割と多職種連携)について教授する。  (42 伊藤 弘人/4回) 地域社会でのパートナーシップ(自治体職員を含めたあらゆる関係者との地域社会でのパートナーシップの構築)、地域医療経済とファイナンシング(地域医療と医療経済やファイナンシングとの関係)、地域の医療提供体制と受療動向の現状分析(地域の医療提供体制と受療動向の現状分析(地域の医療提供体制と受療動向の現状分析(地域の医療提供体制と受療動向の現状分析(地域の医療提供体制と受療動向の現状分析(地域の医療提供体制と受療動向の現状分析(地域の医療提供体制と受療動向の現状分析(地域の医療提供体制と受療動向の現状分析(地域の医療提供体制と受療動向の発析手法)、根拠に基づく地域医学(ロジックモデルを用いた地域医療政策の立案方法)について教授する。	オムニバス方式

科 区	·目 :分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目 (続き)		橋渡し研究・臨床試験各割	橋渡し研究を推進し、精密化医療へ貢献できる能力の修得のため、トランスレーショナルリサーチ、リバーストランスレーショナルリサーチの実際について学ぶ。  (オムニバス方式/全8回) (33 渡部 洋/1回) トランスレーショナルリサーチ(TR)総論・橋渡し研究の実際(TRの理解、クリニカルシーズの評価、ブロジェクトマネージメント、TRに関する産官学支援体制、シーズインキュベーション、シーズ検証、シーズ育成とライセンスアウト、クリニカルシーズの創案とライセンスアウトまでの研究計画の作成)について教授する。 (21 下平 秀樹/1回) 医学領域からのTRとリバーストランスレーショナルリサーチ(RTR)(医療機器開発、Precision medicine、癌遺伝子研究の実際、国際共同臨床研究)について教授する。 (97 吉村 祐一/1回) 薬学領域からのTRとRTR・介入研究・臨床試験とIRB(低分子及び中分子創薬の現状、大学における創薬研究、医薬連携共同研究とRTR、研究成果の特許出願・企業とのマッチング、治験審査委員会の役割と業務内容)について教授する。 (103 水沼 周市/1回) 介入研究・臨床試験のプロトコール・必須文書の作成と保管(介入研究・臨床試験のプロトコール、介入研究・臨床試験の実施に当たって必須となる文章の作成と保管方法)について教授する。 (104 布施 克浩/1回) 臨床試験で接業務・治験薬管理(臨床試験支援業務の種類と役割、治験薬管理の方法)について教授する。 (101 岡田 浩司/1回) 臨床試験の動向(最近の臨床試験のトピックとその動向)について教授する。 (96 村井 ユリ子/1回) 臨床試験と副作用報告(臨床試験で必要な副作用報告の仕組みとその実際)について教授する。	オムニバス方式
門 諸科 乖	論 日 日 日 日	基	生命現象を解明するために必須なイメージングを中心として、細胞生物学の最新の知識および研究法、研究倫理を学び修得する。 (オムニバス方式/全15回) (1 上条 桂樹/8回) 細胞(細胞の構造と機能)、細胞の分子生物学的研究法(分子生物学・生化学的手法による細胞の解析)、光学顕微鏡観察法(光学顕微鏡の基礎、蛍光顕微鏡の基礎、光学顕微鏡観察法、共焦点レーザー顕微鏡の基礎、超解像顕微鏡、する。 (43 尾形 雅君/7回) 超微形態構造解析(透過型電子顕微鏡の原理、透過型電子顕微鏡の標本作製、透過型電子顕微鏡での構造解析(細胞内部形態解析、物質の細胞内局在解析、さまざまな観察技法)、走査型電子顕微鏡の原理、走査型電子顕微鏡の標本作成・観察・構造解析法)について教授する。  当該分野の最新の知識・技能及び研究論理を修得し、組織研究を自ら立案するため、組織の構造や種類について教授する。  当該分野の最新の知識・技能及び研究論理を修得し、組織研究を自ら立案するため、組織の構造や種類について教授する。  当該分野の最新の知識・技能及び研究論理を修得し、組織研究を自ら立案するため、組織の構造や種類について学ぶ。  組織学入門(組織学とは、からだの構成要素、細胞の構成、組織の構成、組織学入門(組織学とは、からだの構成要素、細胞の構成、組織の構成を含む、組織学入門(組織学とは、からだの構成要素、細胞の構成、組織の構造られるもの、上皮組織の分化、腺の構造、分泌様式)、②結合・支持組織とは、結合組織の細胞間質、結合組織の種類、支持組織とは、結合組織の細胞間質、結合組織の種類、支持組織とは、精治組織、骨組織、の3筋組織(筋・筋組織とは、骨格筋、心筋(種類と構造)、平滑筋(筋線維の構造))、④神経組織(神経組織、神経細胞、神経支持細胞、有髄神経線維と無髄神経線維、末梢神経))について教授する。	オムニバス方式

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	基礎医学領域(続き)	生理学特論	当該分野の最新の知識・技能及び研究論理を修得し、恒常性維持の観点から生体内の器官系の関連性を理解するため、生物物理学的刺激が循環器系に及ぼす影響についての解析法と論理的な考察法を学ぶ。 器官系の恒常性維持(生体の恒常性維持機構)、循環生理学(循環生理学(体循環における動脈系、毛細血管系、静脈系およびリンパ系)、肺循環、微小循環、リンパ循環、自律神経系と循環、リンパ系の可視化)、脂肪吸収路としてのリンパ系(小腸・腸間膜のリンパ系)、免疫系とリンパ系(リンパ節・リンパ小節におけるリンパ球の動態)、腫瘍とリンパ系(リンパ行性転移のメカニズムとリンパ節の微小環境)、リンパ系の疾患(リンパの機能からみたリンパ系疾患の病態)、バイオレオロジー(循環器系と生物物理学的刺激に対する応答)、In vitro実験法(脈管からの細胞培養法と分子生物学的手法を用いた解析)、In vivo実験法(実験動物を用いた循環動態の解析)、実験データのまとめ方、In vitroからin vivo実験データの体系的なまとめ方について教授する。	
			神経科学特論	当該分野の最新の知識・技能及び研究論理を修得するため、知的行動を発現させる神経回路の仕組みについて学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (4 松坂 義哉/9回) 概論(脳・神経細胞・遺伝子と行動)、神経科学研究の手法(神経回路機能の研究方法)、認知機能(認知の神経基盤)、運動(運動制御の神経機構・高次運動野・運動制御の計算論)、実行機能(実行機能の神経基盤)、可塑性(神経回路の可塑性)について教授する。 (44 坂本 一寛/6回)神経細胞(神経系を構成する細胞)、シナプス(シナプスの可塑的変化)、知覚(知覚のメカニズム)、神経回路(神経回路の巨視的特性)、学習(強化学習の理論、実験と臨床的意義)、脳波(脳波や局所場電位(LFP)の性質と意義)について教授する。	オムニバス方式
			薬理学特論	薬物の作用を正しく理解するためには、薬物の作用機序を分子・細胞レベルで 把握することに加え、中枢神経系に作用する薬物に関しては、脳の神経回路に 及ぼす薬物の作用をマクロな観点で理解することが重要である。本講義では、神経薬理学における基本的な考え方、研究に必要とされる実験技術、病態解明 や治療薬開発の対象となる疾患に関する知識の習得を目指す。 (オムニバス方式/全15回) (5 岡村 信行/7回) 総論(神経薬理学の基本原理)、神経伝達物質(興奮性・抑制性アミノ酸、カテコールアミン、セロトニン、アセチルコリン)、研究手法(分子イメージング)、アルツハイマー病の病態、アルツハイマー病の治療薬開発について教授する。 (45 中村 正帆/8回) 神経伝達物質(ヒスタミン、神経ペプチド)、研究手法(行動薬理学、光遺伝学・化学遺伝学的手法)、睡眠覚醒調節機構、睡眠覚醒障害の治療薬開発、鎮痛薬、全身麻酔薬について教授する。	オムニバス方式
			病理学特論	当該分野の最新の知識・技能及び研究論理を修得し、各臓器に発症する疾患の病態病理を理解するため、病理診断法や治療標的等について理論的総括を行う。 呼吸器病理学(肺の良悪性疾患の病理)、循環器病理学(循環器領域の良悪性疾患の病理)、内分泌病理学(内分泌領域の良悪性疾患の病理)、上部消化管病理学(上部消化管領域の良悪性疾患の病理)、下部消化管病理学(下部消化管領域の良悪性疾患の病理)、乳腺病理学(乳腺の良悪性疾患の病理)、生殖器病理学(生殖器領域の良悪性疾患の病理)、泌尿器病理学(泌尿器領域の良悪性疾患の病理)、膵病理学(膵の良悪性疾患の病理)について教授する。	

	科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	基礎医学領域(続き)	医化学特論	当該分野の最新の知識・技能及び研究論理を修得し、生理機能解析系で評価することで生命機能の解明につなげる過程を理解するため、分子レベルの生物学的現象に焦点をあてた生化学・分子生物学的研究の手法についても学ぶ。また、バイオインフォマティクスを駆使し病態の理解、疾患治療についても学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (79 上村 聡志/6回) 細胞生化学(細胞内輸送と糖鎖合成、糖鎖と疾患、生体膜脂質の生理機能、細胞圧力負荷応答、脂肪細胞の生化学、細胞膜タンパク質とシグナル伝達)について教授する。 (7 森口 尚/9回) 酸化ストレス応答(薬物代謝と酸化ストレスの生化学、酸化ストレスと腎臓病、酸化ストレスと炎症、酸化ストレスと発ガン)、転写制御と疾患(造血器腫瘍と転写因子、感染症と炎症性サイトカイン、ヒスタミンとアレルギー、遺伝子発現制御と疾患エピジェネティクス)、生物情報科学(次世代シーケンサーとオミクス解析)について教授する。	オムニバス方式
			微生物学特論	当該分野の最新の知識・技能及び研究論理を修得するため、微生物学研究に必要な考え方、研究手法について学ぶ。  (オムニバス方式/全15回) (8 神田 輝/11回) 微生物学と感染症(微生物学の歴史、感染症の現状と対策)、細菌学総論(細菌の分類・基本的性質、細菌の感染機構・化学療法)、細菌感染症(代表的な細菌感染症)、ウイルス学総論(ウイルスの分類・基本的性質)、ウイルス感染症(代表的なウイルス感染症)、ウイルス学研究入門(ウイルス学研究における基本的注意事項)、ウイルス学研究手法(細胞生物学的解析法、ウイルスゲノム解析法)、感染による発がん(微生物が原因となって発生するがん)、微生物学研究新時代(微生物学における学際研究)について教授する。  (46 生田 和史/4回) ウイルス学総論(ウイルスの感染機構・化学療法)、ウイルス学研究手法(ウイルス感染力価の検定、血清学的診断法)、ウイルス感染制御(宿主の防御機構・ワクチン)について教授する。	オムニバス方式
			免疫学特論	当該分野の最新の知識・技能及び研究論理を修得するため、免疫学に固有な概念や多様な免疫細胞の役割を理解し、アレルギー性疾患や自己免疫疾患などの免疫疾患、腫瘍免疫や移植免疫における免疫応答について学ぶ。  (オムニバス方式/全15回) (9 中村 晃/10回) 免疫学の概念(自然免疫と獲得免疫)、免疫担当細胞の特徴(免疫担当細胞の特徴と役割)、補体(補体の生物活性)、抗原の処理と抗原提示(抗原提示細胞による抗原提示機構)、免疫細胞の発生分化(T細胞とB細胞の発生分化)、ヘルパーT細胞(ヘルパーT細胞の分化と役割)、アレルギー(アレルギー疾患の病態)、免疫不全(免疫不全症の病態)、腫瘍免疫・移植免疫(腫瘍免疫と移植免疫応答)、免疫制御(抗体医薬と作用機序)について教授する。  (80 海部 知則/5回)自然免疫(自然免疫を担う細胞)、抗体(抗体の構造と作用)、一次免疫応答と二次免疫応答(形質細胞分化)、自然リンパ球(自然リンパ球の特徴と役割)、自己免疫疾患(自己免疫疾患の病態)について教授する。	オムニバス方式

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	基礎医学領域(続き)	放射線基礎医学特論	当該分野の最新の知識・技能及び研究論理を修得し、放射線生物影響を理解するため、基盤となる分子メカニズムや放射線に関わる種々の生命現象、被ばく医療、原子力災害について学ぶ。  (オムニバス方式/全15回) (47 桑原 義和/6回) 放射線影響総論(放射線の基本性質とその生物影響の発生機序)、線量測定と放射線防護(種々の放射線線量の測定方法、放射線防護の考え方と線量限度、被ばく線量と健康リスク)、DNA損傷応答・修復(放射線によるDNA損傷応答と修復機序)、放射線細胞応答(放射線による細胞応答)、放射線誘発細胞死(放射線誘発細胞死の種類とその特徴)、癌細胞の放射線応答(がん細胞の放射線耐性獲得メカニズム)について教授する。  (10 栗政 明弘/9回)癌細胞の放射線応答(がんの細胞生物学)、放射線治療の分子・細胞学的基礎(がん細胞に対する放射線治療における基礎的反応)、放射線治療の科学的基礎(施床放射線治療法の基本原理と腫瘍ならびに正常組織の反応)、最新の放射線治療学(重粒子線・陽子線治療とホウ素中性子捕捉療法(BNCT))、被ばく医療(被ばく医療の基礎と応用)、原子力災害と福島(福島原子力災害被災地の現状と復興)、メンタルヘルスと放射線リスクコミュニケーション(福島原子力災害被災地の現状と復興)、メンタルヘルスと放射線リスクコミュニケーション(福島原子力災害被災地の現状と復興)、メンタルヘルスと放射線リスクコミュニケーション(福島原子力災害被災地のメンタルへルス)、細胞生物学研究の画像解析(ImageJによる画像解析法)、機械学習による細胞周期解析(Rによる機械学習の基礎)について教授する。	オムニバス方式
		臨床医学領域	循環器内科学特論	冠動脈疾患、不整脈などの循環器疾患の病理、病態生理を理解し、よりよい治療法の開発を目指す。 (オムニバス方式/全15回) (13 小丸 達也/4回) 血管生物学(血管内皮と血管平滑筋、冠血管と冠血流調節、動脈硬化成立のメカニズム、冠攣縮のメカニズム)について教授する。 (48 熊谷 浩司/7回) 不整脈(刺激伝導系の正常と異常、心房細動の発生メカニズム、心房細動の臨床像、心房細動の治療、心房不全、心室性不整脈の診断、心室性不整脈の治療)について教授する。 (81 亀山 剛義/4回) 冠動脈疾患(虚血性心疾患の疫学、虚血性心疾患の診断、急性冠症候群の治療、動脈硬化退縮)について教授する。	オムニバス方式
			呼吸器内科学特論	肺癌、肺炎、気管支喘息、COPDなど発症頻度の高い呼吸器疾患の病態を理解し、疾患の診断を行い、最新の内科的治療法を実践できるように教授する。 (オムニバス方式/全15回) (14 大類 孝/11回) 肺炎(肺炎の分類、肺炎の診断法、肺炎の治療ならびに予防法、肺炎におけるリハビリテーション)、気管支喘息(気管支喘息の病態、気管支喘息の診断法、気管支喘息の新たな治療法)、COPD(COPDの病態・分類、COPDの診断法、COPDの治療法、COPDにおける呼吸管理法)について教授する。 (15 吉村 成央/4回) 肺癌(肺癌の新たな診断法と分類法、肺癌の新たな治療法、小細胞肺癌の疫学・診断・治療)について教授する。	オムニバス方式
			消化器内科学特論	上下部消化管、肝臓、胆道、膵臓に生ずる疾患の病態を理解し、疾病の診断を行い、最適な内科的治療法を実施できるように教授する。 (オムニバス方式、共同(一部)/全15回) (16 佐藤 賢一/4回) 上部消化管(食道疾患の病態・診断・内科的治療、胃疾患の病態・診断・内科的治療、十二指腸疾患の病態・診断・内科的治療)について教授する。 (49 廣田 衛久・83 高須 充子/4回)(共同) 胆道・膵臓(胆道・膵臓良性疾患の病態・診断・内科的治療、胆道・膵臓悪性疾患の病態・診断・内科的治療、について教授する。 (77 小暮 高之/3回) 肝臓(肝臓良性疾患の病態・診断・内科的治療、肝臓悪性疾患の病態・診断・内科的治療)について教授する。 (82 遠藤 克哉/4回) 下部消化管(炎症性腸疾患の病態・診断・内科的治療、大腸悪性疾患の病態・診断・内科的治療)について教授する。	オムニバス方式、 共同 (一部)

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	臨床医学領域(続き)	糖尿病代謝内科学特論	糖、脂質、アミノ酸などのエネルギー代謝の恒常性維持機構およびこれらの代謝異常に由来する病態を理解する。 代謝学総論、糖質代謝異常総論・糖尿病の成因分類と診断、1型糖尿病、2型糖尿病、糖尿病の急性合併症・慢性合併症、糖尿病の遺伝素因、糖尿病以外の糖質代謝異常症、脂質代謝異常総論、脂質異常症(高脂血症)、肥満、メタボリックシンドローム、タンパク質・アミノ酸代謝総論、先天性アミノ酸代謝異常、プリン・ピリミジン代謝異常、ポルフィリン代謝異常・その他の代謝異常、栄養異常について教授する。	
			腎臓内分泌内科学特論	腎臓および内分泌の分子生理学的機序を理解し、腎疾患および内分泌疾患の病態を理解するとともに、クリニカルクエスチョンを解明する手法を計画できるように教授する。  (オムニバス方式/全15回) (17 森 建文/11回) 腎臓内分泌学総論(腎臓と内分泌の分子病態生理学的機序)、腎不全医療学(腎移植療法の導入および維持)、腎臓生理学と内分泌機序(腎臓の血行動態と血圧・体液量・電解質調節)、臓器連関(腎臓内分泌と臓器連関機序)、生活習慣病と高血圧(生活習慣病による高血圧発症機序)、内分泌性高血圧(内分泌性高血圧と分子機序)、水電解質代謝異常の診断と治療、腎臓による水電解質代謝異常の診断と治療、腎臓による水電解質代謝異常の診断と治療、腎臓内分泌内科学分野の創成応用(腎臓内分泌内科学分野の研究手法、腎臓内分泌内科学分野の創成応用)、腎臓内分泌内科学分野の研究計画(腎臓内分泌内科学分野の育成応用)、腎臓内分泌内科学分野の研究計画(腎臓内分泌内科学分野の育成応用)、腎臓内分泌内科学分野の研究計画(腎臓内分泌内科学分野の介えいて教授する。  (51 室谷 嘉一/4回) 腎病理学と腎疾患診断(腎病理学による腎疾患の診断と治療)、腎疾患治療(腎疾患の治療)、腎不全医療学(血液透析の導入および維持、腎移植療法の導入および維持)について教授する。	オムニバス方式
			血液学特論	造血、鉄代謝、腫瘍学、造血幹細胞移植、分子標的療法を中心に、血液学の最 先端の知識・考え方を学ぶ。 (オムニバス方式、共同(一部)/全15回) (18 亀岡 淳一/5回) 造血(骨髄間質細胞)、貧血(溶血性貧血)、造血器悪性腫瘍(骨髄異形成症 候群、悪性リンパ腫)、出血凝固(血栓性素因)について教授する。 (18 亀岡 淳一・84 阿部 正理/4回)(共同) 造血器悪性腫瘍(白血病、分子標的療法)について教授する。 (18 亀岡 淳一・78 沖津(菅原)庸子/2回)(共同) 造血(造血幹細胞)、出血凝固(出血性素因)について教授する。 (18 亀岡 淳一・85 小林 匡洋/4回)(共同) 貧血(鉄代謝)、造血器悪性腫瘍(多発性骨髄腫、造血幹細胞移植)について 教授する。	オムニバス方式、 共同(一部)
			臨床免疫学特論	免疫反応に関わる細胞表面分子および液性因子、全身性エリテマトーデス・関節リウマチや各種膠原病の病態と治療を中心に、臨床免疫学の最先端の知識・考え方を学ぶ。  (オムニバス方式/全15回) (18 亀岡 淳一/1回) 自己免疫疾患各論(自己免疫性血球減少症)について教授する。  (52 小寺 隆雄/7回) 自己免疫疾患総論(免疫の破綻について、免疫の破綻から発病へ)、自己免疫疾患各論(関節リウマチ、血清反応陰性関節炎)、生物学的製剤(生物学的製剤の基礎と臨床)について教授する。  (53 城田 祐子/7回) 自己免疫疾患各論(全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎、自己炎症性疾患、全身性強皮症、血管炎症候群)について教授する。	オムニバス方式

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	臨床医学領域(続き)	脳神経内科学特論	神経疾患の症候から解剖学的および生理学的な病態を理解し、適切な診療に結び付けられるように教授する。  (オムニバス方式/全15回) (20 中島 一郎/5回) 多発性硬化症、視神経脊髄炎スペクトラム障害、筋疾患、末梢神経疾患、自己免疫性脳炎について教授する。  (56 藤盛 寿一/5回) 重症筋無力症、ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー、脳血管障害、高次脳機能障害について教授する。  (86 小林 理子/1回) パーキンソン症候群について教授する。  (88 中村 正史/2回) 神経感染症、神経救急について教授する。  (87 菊池 大一/2回) 認知症、正常圧水頭症について教授する。	オムニバス方式
			腫瘍內科学特論	これまでのがん研究によって解明された発がんのメカニズムを理解し、それに 基づいて開発されてきた抗腫瘍活性を持つ薬剤およびその効果予測のためのバ イオマーカーに関する情報を整理する。がん薬物療法の実践および最適化を推 進する技量を備え、臨床研究あるいは新規抗腫瘍薬のシーズ探索など様々な分 野で独創的な成果を上げるための資質を身につける。 発がんのメカニズム(がん遺伝子とがん抑制遺伝子、遺伝子修復機構と発が ん、がんゲノム・エピゲノム研究、転移のメカニズム、がん幹細胞)、遺伝性 腫瘍(遺伝性腫瘍の診断と治療)、がん薬物療法の歴史(抗がん薬開発の歴 史)、がん薬物療法の進歩(標的分子探索、バイオマーカー探索、免疫関連治 療の開発、がん薬物療法におけるドラッグデリバリーシステム、がんゲノム医 療)、がんの臨床研究(がん領域の臨床試験)、がん薬物療法の展望(最新の 治療薬開発状況)、腫瘍内科学の総括(授業全体の整理・総括)について教授 する。	
			精神科学特論	自然科学・生物学(薬理学、遺伝学、神経病理学や脳科学等)を中心として、精神病理学(精神疾患を心理学的側面から理解する)・治療学まで、幅広い視点から、精神医学の全体像を俯瞰できるように教授する。  (オムニバス方式/全15回) (22 鈴木 映二/4回) 精神を科学的に理解しようとしてきた先人の試み、神経伝達物質と動物の行動、双極性障害治療ガイドライン、向精神薬の薬物動態学の基本について教授する。  (57 中川 誠秀/4回) 精神科領域の脳科学(脳の解剖、脳の機能、形態脳画像の種類と解析方法、脳機能画像の解析方法)について教授する。  (58 山田 和男/4回) 精神科臨床薬理学(精神科薬物療法と費用対効果、東洋医学と精神医学)、精神医学と性差(月経と精神疾患)、心の理論(心の理論と精神疾患)について教授する。  (59 吉村 淳/2回) 依存症(依存症の病態、診断と経過)、心的外傷(心的外傷の影響力)について教授する。  (89 丹生谷 正史/1回) 精神科分子生物学(精神科生物学的仮説、免疫関連機構)について教授する。	オムニバス方式

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	臨床医学領域(続き)	小児科学特論	小児期特有の腎臓疾患・神経筋疾患の病態を理解し、診断法を学び、治療法や対応の選択肢を提示できるように教授する。  (オムニバス方式/全15回) (23 森本 哲司/7回) 尿濃縮(尿濃縮に関連する各尿細管分節の特性について、尿濃縮に関連する疾患の診断と治療)、電解質(主要電解質の腎尿細管における調節について)、腎疾患(小児糸球体疾患の病態・診断・治療、小児尿細管疾患の病態・診断・治療、小児先天性腎尿路異常症の病態・診断・治療)について教授する。  (60 福與 なおみ/8回) 精神運動発達(新生児~小児における運動の発達、新生児~小児・学童における社会性の発達、新生児~小児における言語の発達)、神経筋疾患(新生児期に診断される先天性神経筋疾患の病態と治療、乳児期以降に発症する神経疾患の病態・診断・治療、乳児期以降に発症する神経疾患の病態・診断・治療、乳児期以降に発症する筋疾患の病態・診断・治療、乳児期以降に発症する筋疾患の病態・診断・治療、乳児期以降に発症する筋疾患の病態・診断・治療、乳児期以降に発症する筋疾患の病態・診断・治療)、神経筋疾患の病因検索における倫理的側面)について教授する。	オムニバス方式
			肝胆膵外科学特論	肝臓、胆道、膵臓に生ずる疾患の病態を理解し、疾病の診断および治療法を学び、理論的総括を行う。  (オムニバス方式/全15回) (24 片寄 友/10回) 胆道良性疾患(胆道の良性疾患(胆嚢結石、総胆管結石、合流異常など)の病態・外科治療の適応と術式)、胆道悪性疾患(胆管悪性疾患の病態・外科治療の適応と術式、胆嚢・十二指腸、頭部悪性疾患の病態・外科治療の適応と術式、下臓良性疾患(膵臓良性疾患(急性膵炎、慢性膵炎など)の病態・外科治療の適応と術式)、膵臓悪性疾患(膵臓悪性疾患(膵管癌、IPMN、MCN)の病態・外科治療の適応と術式)、胆道疾患の総括、膵臓疾患の総括について教授する。  (61 山本 久仁治/5回) 肝臓良性疾患(肝臓の良性疾患(肝内結石、血管腫、腺腫など)の病態、外科治療の適応と術式)、肝臓悪性疾患(肝臓の悪性疾患(肝細胞癌、肝内胆管癌、転移性肝癌)の病態、外科治療の適応と術式)、肝臓疾患の総括について教授する。	オムニバス方式
			消化器外科学特論	消化管に生ずる疾患の病態を理解し、疾病の診断を行い、最適な外科的治療法を決定できるように教授する。  (オムニバス方式/全15回) (25 柴田 近/6回) 胃疾患(胃癌の最新治療、胃GIST・胃十二指腸NETの最新治療、消化性潰瘍の最新治療)、大腸疾患(大腸癌の最新治療、大腸疾患の内視鏡外科治療)、腹壁疾患その他(ヘルニア(そけい、大腿、腹壁瘢痕)、腹腔内・後腹膜腫瘍)について教授する。  (62 中野 徹/5回) 食道疾患(食道悪性疾患の最新治療、食道良性疾患の最新治療、食道疾患の内視鏡外科治療)、胃疾患(胃疾患の内視鏡外科治療)、最新の鏡視下治療(ロボット支援手術)について教授する。  (90 長尾 宗紀/4回) 小腸疾患(小腸疾患の外科治療)、大腸疾患(炎症性腸疾患の最新治療、大腸NET・憩室症・肛門疾患の最新治療)、消化管運動と外科(消化管運動の制御機構)について教授する。	オムニバス方式

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	臨床医学領域(続き)	呼吸器外科学特論	胸腔内に生ずる疾患(肺癌・気胸・縦隔腫瘍・胸膜中皮腫・肺移植)の病態を理解し、疾病の正確な診断を行い、最適な外科的治療法を決定できるよう教授する。  (オムニバス方式/全15回) (26 田畑 俊治/8回) 肺癌(肺癌の病態と診断、肺癌の放射線治療、肺癌の薬物治療、肺癌の外科治療)、胸腔内感染症(膿胸、真菌症、結核症、降下性縦隔洞炎の病態と診断と治療)、喀血(気道出血、肺出血の病態と診断と治療)、悪性胸膜中皮腫(産業労働衛生学(石綿)、悪性胸膜中皮腫の診断と治療)について教授する。  (64 手塚 則明/1回) 気胸(続発性気胸の病態と診断と治療)について教授する。  (63 菅原 崇史/1回) 気胸(特発性気胸の病態と診断と治療)について教授する。  (91 石橋 直也/2回)縦隔腫瘍(胸腺腫瘍の病態と診断と治療、胸腺腫瘍(胸腺腫・胸腺癌)の病態と診断と治療、胸腺腫瘍(胸腺腫・胸腺癌)の病態と診断と治療、胸腺腫瘍(胸腺腫・胸腺癌)の病態と診断と治療、胸腺腫瘍(胸腺腫・胸腺癌)の病態と診断と治療、胸腺腫瘍(胸腺腫・胸腺癌)の病態と診断と治療、胸腺腫瘍(胸腺腫・胸腺癌)の病態と診断と治療、について教授する。	オムニバス方式
			乳腺・内分泌外科学特論	我が国の女性が罹患する悪性腫瘍で最も頻度が高いのが乳がんである。乳がんの治療は、物理的な広がりを基準にしたTNM病期分類よりも、がんの生物学的特性や治療のターゲット因子に基づくサブタイプ分類を根拠に治療法が選択される。最新の乳がん治療を理解するために、サブタイプ分類に基づく乳がん治療の概略を学ぶ。  (オムニバス方式/全15回) (27 鈴木 昭彦/7回) 乳腺疾患総論(乳がんの疫学、乳がん検診、サブタイプ分類、遺伝性乳がん、遺伝学的検査、手術療法、乳房再建)、乳がん治療各論(Luminal Aタイプ乳がん(初期治療・転移再発治療))について教授する。  (65 渡部 剛/8回) 乳腺疾患総論(薬物療法、分子標的治療)、乳がん治療各論(Luminal Bタイプ乳がん(初期治療・転移再発治療)、HER2タイプ乳がん(初期治療・転移再発治療)、Triple Negativeタイプ乳がん(初期治療・転移再発治療))について教授する。	オムニバス方式
			心臓血管外科学特論	心臓血管疾患の原因・病理・病態を理解し、最新の診断法・外科的治療法を取り入れ、長期的な予後改善のための最適な診療を実施できる能力を身につける。  (オムニバス方式/全15回) (28 川本 俊輔/9回) 虚血性心疾患(虚血性心疾患の包括的治療体系、虚血性心疾患の外科治療)、心臓弁膜症(心臓弁膜症の包括的治療体系、心臓弁膜症の外科治療)、重症心不全(補助循環治療、心臓移植)、感染性心血管疾患(感染性心内膜炎)について教授する。  (66 清水 拓也/6回) 感染性心血管疾患(感染性動脈瘤)、大動脈瘤(胸部・腹部大動脈瘤の包括的診療体系、大動脈解離の治療、ステントグラフト治療)、末梢動脈疾患(末梢動脈疾患の包括的診療体系、重症虚血肢)について教授する。	オムニバス方式
			脳神経外科学特論	脳神経外科疾患の病態を理解し、疾病の診断を行い、最適な治療法を決定できるように教授する。  (オムニバス方式/全15回) (30 佐々木 達也/8回) 脳神経外科総論(脳神経外科の歴史・総論)、脳血管障害(脳血管障害の総論、くも膜下出血の病態・診断と治療、脳内出血の病態・診断と治療、脳梗塞の病態・診断と治療)、頭部外傷(頭部外傷の総論、頭部外傷の病態・診断と治療)、意識障害と脳死(意識障害の評価法、脳死)について教授する。  (76 遠藤 俊毅/7回) 脳腫瘍の総論と分類、脳実質内腫瘍の病態・診断と治療、脳実質外腫瘍の病態・診断と治療、脳腫瘍の治療の実際)、脊髄・脊椎疾患(脊髄・脊椎疾患の対象疾患と治療)、小児脳神経外科(小児脳神経外科の病態・診断と治療)、機能的脳神経外科(機能的脳神経外科の病態・診断と治療)について教授する。	オムニバス方式

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	学領域(続	皮膚科学特論	皮膚症状を呈する疾患の病態を理解し、発症機序の更なる展開を推測する能力を養う。最新の治療を理解し、更なる進歩へ貢献できる能力を養う。 (オムニバス方式/全15回) (31 川上 民裕/13回) 皮膚総論(皮膚の形態・機能・治療)、湿疹・皮膚炎群の診断・機序・治療・理論的総括、蕁麻疹・紅斑症の診断・機序・治療・理論的総括、中毒疹・薬疹の診断・機序・治療・理論的総括、水疱症・膿疱症の診断・機序・治療・理論的総括、皮膚腫瘍の診断・機序・治療・理論的総括、血管炎の診断・機序・治療・理論的総括について教授する。 (68 池田 高治/2回) 膠原病の診断・機序・治療・理論的総括について教授する。	オムニバス方式
			耳鼻咽喉科学特論	アレルギー性疾患および唾液腺腫瘍などの耳鼻咽喉科疾患の病態を解析し、治療法の開発に繋げられるように教授する。 (オムニバス方式/全15回) (32 太田 伸男/13回) 鼻科学(アレルギー性鼻炎の診断・治療、慢性副鼻腔炎の診断・治療)、耳科学(好酸球性中耳炎の診断・治療)、頭頸部外科学(IgG4関連疾患の診断・治療、木村氏病の診断・治療)、鼻科学(GPAの診断・治療、EGPAの診断と治療)について教授する。 (69 鈴木 貴博/2回) 頭頸部外科学(唾液腺腫瘍の診断、唾液腺治療の治療)について教授する。	オムニバス方式
			産婦人科学特論	子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌などの婦人科疾患および関連する周産期異常の病態を解明できるように教授する。  (オムニバス方式/全15回) (33 渡部 洋/10回) 婦人科腫瘍の病態 (婦人科癌の発生に関与するHuman papillomavirus (HPV)・DNAミスマッチ修復異常・相同組換え修復異常などの発癌機序、婦人科遺伝性腫瘍の発生の分子生物学的機序と分子標的薬の薬理作用)、婦人科腫瘍の診断 (婦人科腫瘍に対する基礎的診断法・臨床的診断法、婦人科腫瘍発生の予防法)、婦人科腫瘍手術療法 (婦人科悪性腫瘍に対する手術療法)、婦人科悪性腫瘍薬物療法 (婦人科悪性腫瘍に対する薬物療法・分子標的薬剤療法)、婦人科腫瘍と臨床研究 (婦人科腫傷を対象とした臨床研究)、婦人科腫瘍合併妊娠 (妊娠合併婦人科悪性腫瘍)について教授する。  (71 酒井 啓治/2回) 婦人科腫瘍合併妊娠 (妊娠合併婦人科良性腫瘍、婦人科腫瘍合併妊娠の分娩および産褥管理)について教授する。  (70 中西 透/3回) 婦人科腫瘍手術療法 (婦人科良性腫瘍に対する手術療法)、婦人科稀少腫瘍 (婦人科種瘍の疫学・診断および治療、絨毛性腫瘍の疫学・診断および治療)について教授する。	オムニバス方式
			泌尿器科学特論	泌尿器尿路生殖器に生ずる疾患の病態を理解し、疾患の診断、および最適な治療法を決定できる。また新たな診断、治療法の開発を模索できるように教授する。  (オムニバス方式/全15回) (72 海法 康裕/8回) 排尿機能(排尿機能異常の病態・診断・治療、排尿管理)、前立腺癌(前立腺癌に対する新規手術療法・新規保存療法、前立腺癌術後尿失禁に対する新規療法、前立腺癌術後尿性機能障害に対する新規療法)について教授する。  (93 伊藤 淳/7回) 尿路上皮癌の診断・薬物療法・手術療法と今後の展望)、前立腺肥大症(前立腺肥大症に対する新規薬物療法・新規手術法)、精巣腫瘍の診断と治療、研究の最先端)、後腹膜臓器疾患(後腹膜臓器疾患の診断と治療、研究の最先端)、後腹膜臓器疾患(後腹膜臓器疾患の診断と治療、研究の最先端)について教授する。	オムニバス方式

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	臨床医学領域(続き)	形成外科学特論	①眼瞼機能の加齢に伴う低下、②加齢性の身体機能低下に起因する、あるいは生活習慣病・慢性疾患の合併症である末梢循環不全・免疫不全によって生じる慢性創傷、③手外傷、これら①②③に対する外科的治療法の基礎的知識を習得し、最適な治療法を選択し、新たな治療アルゴリズム・手段を開発したりするための思考的な基盤を確立できるように教授する。  (オムニバス方式/全15回) (34 權太 浩一/4回) 眼瞼の構造・機能と病態総論(上下眼瞼の構造・機能、先天性・後天性の眼瞼の病態の概観)、眼瞼の病態各論:老化性変化および眼瞼下垂(眼瞼の老化性変化の病態、先天性および老化を含む後天性眼瞼下垂の病態とその原因疾患・治療法)、眼瞼機能と眼球・視機能との相互作用(眼瞼機能の異常や眼瞼への外科的侵襲が眼表面・視機能に及ぼす影響)、手外傷(手の解剖と機能生理)について教授する。  (94 舘 一史/11回) 褥瘡(褥瘡の発症メカニズム、褥瘡の予防法・治療法)、下肢慢性潰瘍(末梢血行動態の発症メカニズム、褥瘡の予防法・治療法)、下肢慢性潰瘍(末梢血行動態の発症メカニズムとその治療法・カニズムおよび治療法、糖尿病による神経障害・免疫障害に伴う下肢慢性潰瘍の発生メカニズムおよび治療法)、重症軟部組織感染症(重症軟部組織感染症の基礎的病態、細菌感染による重症軟部組織感染症の病態と治療法、糖尿病患者における重症軟部組織感染症の発生メカニズムとその治療法)、手外傷(手外傷の病態と治療法)について教授する。	オムニバス方式
			放射線医学特論	(1)画像診断の臨床応用の向上を目指して、CT、MRIなどの画像診断装置の進歩を理解するとともに、得られた画像を用いた画像診断法を理解する。(2)画像診断研究の方法を理解し、画像データの統計学的検討について理解する。 (2)画像診断研究の方法を理解し、画像データの統計学的検討について理解する。 画像診断法(画像診断装置の進歩、MR診断の基本、胸部画像診断の基礎、腹部画像診断の基礎、乳腺画像診断、内分泌疾患の画像診断、副甲状腺機能亢進症の画像診断、画像診断case study、Interventional Radiology)、画像診断研究(画像診断研究における統計基礎、画像診断研究における統計解析、Machine learningを用いる画像診断研究、Deep learningを利用するAIによる画像診断研究)について教授する。	
			臨床検査医学特論	造血器腫瘍研究は、分子病態解析が活発に進み、それに基づく検査診断、治療が急速に発展し、診断・治療法開発の優れたモデルとなる。臨床検査医学では、血液検査の臨床、造血細胞分化とその異常による造血器腫瘍病態、それを基盤とした検査診断、治療等について教授する。  (オムニバス方式/全15回) (36 髙橋 伸一郎/13回) 造血について(血球の生成・造血因子・造血器官)、血液と臨床(血液検査と目的)、造血器腫瘍の基礎(造血器腫瘍の分子病態について)、急性骨髄性白血病の分子病態、急性骨髄性白血病の基礎から応用へ(急性骨髄性白血病の新たな治療法)について教授する。  (78 沖津(菅原)庸子/2回) 血液と臨床(血液疾患の臨床、輸血・細胞治療)について教授する。	オムニバス方式
			免疫アレルギー病態学特論	アレルギー性および慢性炎症性疾患の病態を理解するために、免疫細胞、炎症細胞さらに組織構築細胞の分子生物学および細胞生理学を基盤として、疾患に特異的な細胞・臓器の免疫病理学的、機能的変化を実症例および疾患モデルを通じて学ぶ。さらに、病態の解明に基づいた、新たな治療法や個別化医療の開発の実際を理解する。  (オムニバス方式/全15回) (39 大野 勲/4回) 気管支喘息の病態(病態生理、難治化要因、好酸球の生理的・病理的機能)、気管支喘息の診断(診断の手順と根拠)について教授する。  (40 中村 豊/4回) 気管支喘息の治療(治療ガイドライン、遺伝子多型と喘息治療)、アレルギー疾患の病態・治療(病態と難治化因子・治療)、自己免疫疾患の病態・治療(病態と難治化因子・治療)について教授する。  (74 有川 智博/4回) 免疫と糖鎖(免疫の機能調節、免疫機能と糖鎖、呼吸器の免疫疾患と糖鎖、免疫疾患モデルと糖鎖)について教授する。  (75 宮坂 智充/3回) 気管支喘息の病態(病態解析モデル)、気管支喘息の病態修飾因子(性に依存した増悪病態、精神的ストレスによる増悪病態)について教授する。	オムニバス方式

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	社会地域医学領域	地域医療管理学特論	少子高齢化と人口減少に伴う社会保障の課題が臨床活動や地域社会へいかに影響するかを理解した上で、課題解決に向けた具体的な対策を地域の関係組織へ提案できるようになるために、持続可能な地域医療の構築に求められる観点を学び、地域の課題と対策を系統的・学際的に分析・整理する手法を習得する。総論(医療関連法・制度・倫理規範)、医療安全と災害レジリエンス(医療の質と安全、地域における事前の備え)、経営管理(病院管理、地域マネジメントと医療)、人事管理(病院管理、地域の人的資本と医療)、情報管理とエビデンスの重視(院内情報管理、地域での情報共有)、慢性疾患管理とメンタルへルスケア(現状分析、行政施策との連動)、東北におけるこれからの地域医療管理(ネットワーク病院等からのアプローチ、県・二次医療圏からのアプローチ、市町村からのアプローチ)、総合討論(意思決定・リーダーシップ)について教授する。	
			疫学特論	疫学研究のスタイルについて、研究分野別に講義を行う。 疫学研究・医学研究デザイン入門(ヒト対象研究の方法・分類・介入方法)、 症例対象研究(症例対象研究のデザインとその方法)、コホート研究(前向き コホート研究・ヒストリカルコホート研究)、ランダム化比較試験、診断検査 に関する研究(スクリーニングやサーベイランス、診断検査に関するに関連す る研究方法)、メタアナリシス・メタ回帰分析、偏りと交絡・因果推論(データ構造、交絡や因果関係)、生存時間解析(カプランマイヤー曲線やログラン ク検定、コックスモデル)、線形混合モデル、時系列解析、共分散構造分析、 循環器疫学・がん疫学、ライフコース疫学・社会疫学(周産期疫学・小児疫 学・社会科学と疫学の視点)、薬剤疫学・リアルワールドデータ研究(薬剤疫 学の実際・DPCデータの分析・レセプトデータの分析)、サンプルサイズ設計、 ポストホック解析、データ管理・Missing Data(データ管理方法の実際・欠損 値の取り扱い)について教授する。	
			法医学特論	医療現場における患者の正確な死因の判断、医師が交付する書類の記入法、病態生理学や成傷機序を基盤とした医療鑑定業務の理解、医療従事者が知っておくべき法律の解釈や検案実務手技の習得、法医病理学・法医中毒学・法医画像診断学・死因統計学などの基礎的知識について理解を深める。 法医学概論(法医学の概念と実務)、法的根拠(死体解剖保存法、刑事訴訟法等)、死因統計(死因別統計、年代別死因)、死因究明(死因の概念、患者の死因判断、異状死の死因判断)、医療関連文書(文書の作成と交付)、実践法医学(検案の実際、司法解剖・行政解剖の実際、法医病理学、アルコール・薬毒物検査、死体検案書・解剖報告書・鑑定書)、臨床法医学(法医学知識の還元と応用、助言・意見書の依頼、鑑定の依頼)について教授する。	
			地域医療学特論	これまでの国内外の地域医療の変遷と現状を解析し、理想の地域医療とはどのようなものであるかを構想、構築する。同時に、地域医療の向上のために何が必要であるかを解析し提言できるように教授する。  (オムニバス方式/全15回) (19 古川 勝敏/10回) 東北の地域医療の現状、東日本大震災の地域医療への影響、地域における高齢者医療、医療計画・医療連携・地域医療構想、地域医療における調査研究、地域包括ケアシステム、離島・僻地医療の理解と現状分析、地域における感染症対策、地域における医学教育、地域での在宅医療について教授する。  (54 住友 和弘/3回) 地域分析、東北地域の社会的健康決定要因の解析、地域医療格差の是正について教授する。  (55 大原 貴裕/2回) 地域における循環器診療の現状と課題、地域における循環器診療の枠組みについて教授する。	オムニバス方式
			整形外科学特論	加齢や外傷により運動器器官である骨、軟骨、神経、筋、靱帯は大きく障害される。その病態について理解する。 (オムニバス方式/全15回) (29 小澤 浩司/8回) 運動器総論(運動器器官の解剖と生理、加齢による運動器器官の変化、運動器器官の疾患、社会と運動器疾患)、関節と加齢(関節の変性と痛み、高齢者の関節疾患、関節疾患の治療)、神経と障害(末梢神経疾患の機序と病理)について教授する。 (67 菅野 晴夫/7回) 脊椎と加齢(脊椎の変性と腰痛、高齢者の姿勢変化、脊髄のバイオメカニクス、脊髄損傷の病態、脊椎脊髄疾患の治療)、運動器と外傷(運動器外傷の機序、運動器外傷が身体に与える影響)について教授する。	オムニバス方式

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特論科目(続き)	社会地域医学領域(続	リハビリテーション学特論	超高齢社会、重複障害、地域包括ケアシステムにおける急性期・回復期・生活期リハビリテーション診療の役割と各種疾患の障害像とそのリハビリテーション方法、効果、診療上の意義について理解する。 リハビリテーション総論(リハビリテーション医学・医療の総論、リハビリテーション診療の概要)、リハビリテーション各論(脳血管障害・頭部外傷・運動器疾患・脊髄損傷・切断・心疾患・呼吸器疾患・糖尿病・肥満症・腎疾患・肝疾患・嚥下障害のリハビリテーション、リハビリテーション栄養、がんのリハビリテーション)について教授する。	共同
		も)	感染症学特論	地域における感染症発生状況を把握し、その診断、治療、予防・制御法を学ぶ。  (オムニバス方式/全15回) (37 賀来 満夫/6回) 原因微生物各論(感染症の原因微生物)、抗菌化学療法各論(地域の抗微生物薬使用の現況と課題)、検査各論(各種微生物検査の方法や実際)、感染制御ネットワーク各論(地域における感染制御ネットワーク構築)、国際感染症各論(世界的な広がりを見せる感染症と対応)、ワクチン各論(地域におけるワクチン接種状況と今後の課題)について教授する。  (73 遠藤 史郎/9回) 耐性菌感染症各論(地域の耐性菌状況と対策)、結核・抗酸菌症各論(地域における結核・抗酸菌症診療の現況と行政・基幹病院との連携)、ウイルス感染症各論(地域のインフルエンザやCOVID-19発生状況と対応)、リケッチア感染症各論(地域における動物媒介感染症などの発生状況とサーベイランス)、エイズ・真菌感染症各論(地域におけるエイズと関連する真菌症の現況)、高齢者感染症各論(地域における高齢者の感染症)、小児感染症各論(地域における高齢者の感染症)、小児感染症各論(地域における小児の感染症)、性感染症各論(地域における性感染症)、院内感染対策各論(院内感染の伝播や現場での対応)について教授する。	オムニバス方式
			腫瘍疫学特論	臨床疫学の研究方法に関する詳細を理解し、それらの研究結果がガイドライン上でどのように評価され位置づけられているかを理解する。それらの臨床疫学研究の結果のもと、がん検診が、どのように現在の社会に採り入れられ、運用されているのかを理解する。 臨床疫学の研究方法(臨床疫学の各種研究方法、介入研究・無作為化比較試験、観察研究・症例対照研究・コホート研究、地域相関研究・時系列研究・ケースシリーズ)、ガイドライン(エビデンスレベルと推奨レベル、臨床ガイドラインと検診ガイドライン、検診ガイドラインと社会)、がん検診(検診と診療、がん検診のバイアス、がん検診の有効性、がん検診の不利益:偽陰性・偽陽性、がん検診の不利益:放射線被ばく・心理的不安・その他、がん検診の精度、がん検診の精度管理、わが国でのがん検診の実際について教授する。	

	科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	() 演習科目	礎		基礎医学領域において、研究者および高度医療人に求められる研究能力を養う。以下の項目(テーマ)から指導を受ける分野を1つ選択し、文献検索、論文抄読、研究立案などについてプレゼンテーションすることで、研究遂行のための能力を養う。  (1 上条 桂樹/43 尾形 雅君) 細胞生物学:生命の基本単位である細胞を分子レベルで理解し生命科学を基盤とした技術について教授する。  (2 石田 雄介) 組織解剖学:主に神経系や感覚器に特異的に発現する遺伝子に関する新知見について教授する。  (3 河合 佳子) 生理学:器官の代表として心臓・脈管系の臓器を取り上げ、各臓器・器官の機能と相互の制御機構について教授する。	
			基礎医学演習	(4 松坂 義哉/44 坂本 一寛) 神経科学:知的行動を発現させる神経回路の仕組みについて教授する。 (5 岡村 信行/45 中村 正帆) 薬理学:アルツハイマー病などの神経変性疾患の病態解明、睡眠覚醒サイクルの調節に関わる分子機構について教授する。 (6 中村 保宏) 病理学:腫瘍性疾患の発症および病態制御について教授する。	
				(7 森口 尚/79 上村 聡志) 医化学:慢性炎症性疾患の転写因子・糖鎖分子を基盤とした病態メカニズムについて教授する。 (8 神田 輝/46 生田 和史) 微生物学:病原微生物、特にウイルスによる病原性発現機構について教授する。	
				(9 中村 晃/80 海部 知則) 免疫生物学:アレルギー性疾患や自己免疫疾患など代表的な免疫疾患について 教授する。 (10 栗政 明弘/47 桑原 義和) 放射線基礎医学:放射線生物影響の基盤となる分子メカニズムについて教授する。	
		臨床医学領域		臨床医学領域領域において、研究者および高度医療人に求められる研究能力を養う。以下の項目(テーマ)から指導を受ける分野を1つ選択し、文献検索、論文抄読、研究立案などについてプレゼンテーションすることで、研究遂行のための能力を養う。  (13 小丸 達也/48 熊谷 浩司/81 亀山 剛義) 循環器内科学:不整脈や心筋梗塞などの心疾患の病態解明、診断法の確立、治療法の確立について教授する。	
			臨床医学演習	(14 大類 孝/15 吉村 成央) 呼吸器内科学:肺癌・COPDなどの呼吸器疾患の病態を理解し新しいバイオマーカーを探索し、高齢者肺炎の病態を解明し新たな予防法の確立について教授する。 (16 佐藤 賢一/49 廣田 衛久/77 小暮 高之/82 遠藤 克哉/83 高須 充子) 消化器内科学:消化器に生ずるすべての癌や炎症性疾患を対象とした発生機序と悪性化機構解明について教授する。	
			<b>温</b> 木医子演省	(50 澤田 正二郎) 糖尿病代謝内科学:血糖の恒常性維持機構を理解し糖代謝異常の病態解明について教授する。 (17 森 建文/51 室谷 嘉一) 腎臓内分泌内科学:腎臓・内分泌疾患における病態解析、治療法開発について教授する。	
				(18 亀岡 淳一/84 阿部 正理/78 沖津(菅原) 庸子/85 小林 匡洋) 血液学:各種血液疾患の分子病態のメカニズムと診断法及び治療法について教 授する。 (18 亀岡 淳一/52 小寺 隆雄/53 城田 祐子) 臨床免疫学:自己免疫疾患ならびにリウマチ性疾患の病態メカニズムと診断 法、治療法について教授する。	

(20 中島 一郎/56 藤藤 寿一/98 小林 四ア/98 中村 正虫/97 菊池 大 一) 神経内容学: 原神経性恋の病恋を解析: 新たな的療法の構造について乾燥する。 (21 下平 奏相) 程度の形成が指い業やペイオマーカー関連のためのシーズ解表を目的とした。 現成の形成が指い業やペイオマーカー関連のためのシーズ解表を目的とした。 現成の形成が指い業やペイオマーカー関連のためのシーズ解表を目的とした。 現成の形成が指い業やペイオマーカー関連のためのシーズ解表を目的とした。 現成応用可能にする (22 鈴木 映 ― 787 中川 英書/98   田門 和男/99   書村 神/99   丹在谷 正 1分   特殊学: 原科学で行われている遺伝列売を基盤として、解尿応用可能にする (24 月音 友/61 川本 久仁治) 評理即外条学: 原理課務意の情報解別と治療法職をいつながる知見について乾燥する。 (25 椿中 丁/99 中野 治/99 京原 宗宗)   海に野外祭学: 原理課務意の情報解別と治療法関発につながる知見について乾燥する。 (26 相目 修治/98 妻母・智彦・女庭・神療・女庭・神療・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目 (続き) 臨床医学領域 (続き)		(41 山田 隆之) 放射線医学:高度画像診断法の知識と診断能力と最新画像診断法領域に関する 最新知識の教授および画像診断について教授する。 (36 髙橋 伸一郎/78 沖津(菅原)庸子) 臨床検査医学:より良い血液検査の開発とともに、造血細胞分化とその異常に よる造血器腫瘍病態について教授する。 (39 大野 勲/40 中村 豊/74 有川 智博/75 宮坂 智充) 免疫アレルギー病態学:アレルギー・免疫応答に関わる細胞の種類とその分化 および機能調節機構について理解する。また、その理解に基づいて、アレル ギー疾患の病態発症の機序を解析し、疾患の予防・治療への応用について教授 する。	
社会地域医学領域		社会地域医学領域において、研究者および高度医療人に求められる研究能力を養う。以下の項目(テーマ)から指導を受ける分野を1つ選択し、文献検索、論文抄誌、研究立案などについてプレゼンテーションすることで、研究遂行のための能力を養う。 (42 伊藤 弘人) 地域医療管理学:病院組織および自治体経営のトップマネジメントに関する基礎知識とアプローチ、コンサルテーション技法を理解し、分析と仮説を実際にモデル地域に提案できるように教授する。 (11 目時 弘仁) 疫学:疫学研究や臨床研究でよく用いられる研究方法について、先行文献を検索すると共に体系を理解し、実地に即したよりよい研究計画の立案について教授する。 (12 高木 徹也) 法医学:様々な現場で依頼される鑑定や意見、病院や検案現場で必要とされる死因究明の思考や手技、解剖等で検討すべき鑑定などを効率よく、さらに正確に実践できるように教授する。 (19 古川 勝敏/54 住友 和弘/55 大原 貴裕)地域医療学:これまでの国内外の地域医療の変遷と現状を解析し、理想の地域医療とさばどのようなものであるかを構想、構築する。同時に、地域医療の向上のために何が必要であるかを解析できるように教授する。 (29 小澤 浩司/67 菅野 晴夫)整形外科学:加齢や外傷による運動器器官(骨、軟骨、神経、筋、靭帯)障害の病態について教授する。 (35 伊藤 修/95 髙橋 麻子)リハビリテーション学:地域における各種疾患による障害、また重複障害を有する患者のリハビリテーション診療について教授する。 (37 賀来 満夫/73 遠藤 史郎)感染症学:地域における感染症発生状況を把握し、新たな診断、治療、予防・制御法の開発・研究について教授する。 (38 佐川 元保) [18 6年] 「一年] 「一年] 「「一年] 「「「一年] 「「「一年] 「「一年] 「「一年] 「「一年] 「「「一年] 「「一年] 「「「一年] 「「一年] 「「「一年] 「「「「一年] 「「「一年] 「「「一年] 「「「一年] 「「「一年] 「「「「一年] 「「「一年] 「「「一年] 「「「「一年] 「「「「一年] 「「「一年] 「「「一年] 「「「一年] 「「「「一年] 「「「「一年] 「「「「一年]	

	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(	文 特別研究科目	授業科目の名称 特別研究 I	自立的に研究を遂行・展開し、新たな知識・技能を創造できる能力を醸成するために、以下に示す項目(テーマ)から指導を受ける分野を1つ選択し、課題の発見と関連する情報収集により研究テーマを決定し、倫理審査を含めて研究計画を立案し、基本的な実験手技を習得する。 (1 上条 桂樹/43 尾形 雅君)細胞を分子レベルで理解することを課題として、生命科学を基盤とした技術について指導を受け、研究計画を立案し、細胞生物学・生命の基本単位である細胞を分子レベルで理解することを課題として、生命科学を基盤とした技術について教授する。 (2 石田 雄介)組織解剖学:主に神経系や感覚器に特異的に発現する遺伝子に関して新知見を得ることを課題として、研究計画を立案し、免疫組織学・分子生物学・生化学・生理学など様々な分野の実験技術の基礎について教授する。 (3 河合 佳子)生理学:心臓・脈管系の各臓器・器官の機能と相互の制御機構解明を課題として、研究計画を立案し、細胞培養技術、免疫組織学的解析、分子生物学的解析などの実験技術について教授する。 (4 松坂 義哉/44 坂本 一寛)神経科学:知的行動を発現させる神経回路の仕組みの解明を課題として、研究計画を立案し、ヒト・動物の行動解析によって脳の情報処理過程を推量する研究方法の基礎について教授する。 (5 岡村信行/45 中村 正帆)薬理学:アルツハイマー病などの神経変性疾患の病態解明、睡眠覚醒サイクルの調節に関わる分子後無解明を課題として、研究計画を立案し、アルツハイマー病、および睡眠覚醒系神経回路の基礎的事項について教授する。 (6 中村 保宏)病理学:腫瘍性疾患の発症および病態制御の解明を課題として、研究計画を立案し、形態学的、免疫組織学的、分子病理学的解析方法の基礎について教授する。 (7 森口 尚/79 上村 聡志)医化学:慢性炎症性疾患の転写因子・糖鎖分子を基盤とした病態メカニズムの解明を課題として、研究計画を立案し、組換えウイルス作製法など基本的実験技術について教授する。 (8 神田 輝/46 生田 和史)微生物学:病原微生物、特にウイルスによる病原性発現機構の解明を課題として、研究計画を立案し、組換えウイルス作製法など基本的実験技術について教授する。 (9 中村 晃/80 海部 知則)免疫学:アレルギー性疾患や自己免疫疾患など代表的な免疫疾患の病態解明を課題として、研究計画を立案し、細胞生物学・分子生物学的手枝に加えて、免疫学的実験手枝について教授する。	備考
			授する。 (9 中村 晃/80 海部 知則) 免疫学:アレルギー性疾患や自己免疫疾患など代表的な免疫疾患の病態解明を課題として、研究計画を立案し、細胞生物学・分子生物学的手技に加えて、免疫学的実験手技について教授する。 (10 栗政 明弘/47 桑原 義和) 放射線基礎医学:放射線生物影響の基盤となる分子メカニズムの解明を課題として、研究計画を立案し、細胞・組織に対する放射線の影響の基礎的理論、および関連する実験手技、社会医学的解析方法について教授する。 (13 小丸 達也/48 熊谷 浩司/81 亀山 剛義) 循環器内科学:不整脈や心筋梗塞などの心疾患の病態解明、診断法の確立、治療法の確立を課題として、研究計画を立案し、心房細動・心室頻拍の評価法など心疾患の病態解析の基礎について教授する。	
			(14 大類 孝/15 吉村 成央) 呼吸器内科学:肺癌・COPDなどの呼吸器疾患の病態解明、新しいバイオマーカーの探索、高齢者肺炎の病態解明と新たな予防法確立を課題として、研究計画を立案し、肺癌の治療薬・バイオマーカー、高齢者肺炎の予防的治療、COPD治療の基礎的事項について教授する。	

(16 佐藤 賢一/49 壌田 幣久/77 小客 高之/82 遠藤 克哉/83 高須 充 子) 第18場所科学:第1個7器に生するすべての熱や炎症性疾患を対象とした発生機能を発生とした発生機能が自動して、研究計画を立案し、自めとする解析を行うための分子遺伝学的手法、動物実験法について裁授する。 (56 澤田 正上那) 類原代部内科学・血糖の恒常性維持機構の理解、および離代制異常の病態解明光度距として、研究計画を立案し、内分泌ホルモンと結代制に関連する機器 (折載、筋肉など)との関連を解析する研究手法について教授する。 (17 森 建文/61 室谷 嘉一) が展生における急能解析、治療法院発を課題として、研究計画を立業し、関係、内分泌表患の病態解析に向けた数子ク解析法、動物実験法について教授する。 (18 亀岡 淳一/84 阿部 正理/78 沖砕 (省度) 緒下/85 小林 医門/6 能療・各種血液疾患の分子病態のメカニズムの解明と診断法及び治療法の問義に向けが発立疾をし、そこで用いる分子生物学的手法、細胞生物学的手法について教授する。 (18 亀岡 淳一/84 阿部 正理/78 沖砕 (省度) 緒下/85 小林 理学) 臨疾免疫学:自主免疫疾患な方にリケッ子体疾患の病態を力の手法にのいて教授する。 (20 中島 一部/66 藤塞 寿一/86 小林 理子/88 中村 正史/87 素池 大部体疾の対学・調神疾疾患の病態能称、および発生な遊域能應書の画像データ解析法、無限の科学:動物技術の研究・活動技術とについて教授する。 (21 下平 秀樹) 延縮の科学・調神疾疾患の病態能称、および発生が衰し、人が発生の一般が持ち、力を対す法、表は分格量表の表し、大が発生のの対針学的解析法について教授する。 (22 鈴木 映二/57 中川 減秀/58 山田 和男/59 吉村 淳/89 丹生存 正史) 特殊日本で学文し、が大川上衛を経歴として、研究計画を立案し、大小側を含め、対したの対して教授する。(23 森本 哲司/60 宿典 なおか) 小児科学:小児疾疫の病態解明と治療法院患や、小児でんかん疾患の遺伝の治療の理解に向けた各種議会力法について教授する。 (24 片常 友/61 山本 久仁治) 肝胆膵疾患の病能解明に向けた分子生物学的研究手法について教授する。 (24 片常 太/61 山本 久仁治) 肝胆腫疾患の病能解明に向けた分子生物学的研究手法について教授する。	科目 授業科目	り名称 講義等の内容	備考
消化器外科学:食道がん、胃がん、大腸がん、炎症性腸疾患の手術による機能障害の改善を課題として、研究計画を立案し、消化器がん、炎症性腸疾患の手術が内分泌系、腸管神経系に与える影響を調べる手法について教授する。  (26 田畑 俊治/63 菅原 崇史/64 手塚 則明/91 石橋 直也/92 三友 英紀) 呼吸器外科学:肺癌に対し分子生物学的手法を用いた最新の診断方法と治療効果推定法の開発を課題として、研究計画を立案し、分子生物学的手法を用いた肺癌診断法と治療効果推定法の基礎について教授する。  (27 鈴木 昭彦/65 渡部 剛) 乳腺・内分泌外科学:乳がんの病態や治療法に関して新知見を見出すことを課題として、研究計画を立案し、乳がんの病理、診断、治療法の基本的事項について教授する。  (28 川本 俊輔/66 清水 拓也) 心臓血管外科学:大動脈瘤などの心臓血管疾患の診断治療アルゴリズム開発を	下	(16 佐藤 賢一/49 廣田 衞久/77 小暮 高之/82 遠離 宜鼓/83 高須 充于) 一部に設内科学: 消化器にまするすべての高や系原性疾患を対象とした発生機序と悪生性物物類所を得到を提近して、研究計画で立致し、目的とする解析を行うための分子遺伝学的手法、動物実験法について教授する。 (50 澤田 正二郎) 糖原科(部内科学: 血糖の恒常性維持機構の興解、および特代計画等での需能解明を設置として、研究計画で立致し、内分泌ホルモンと特代部に関連する臓器(肝臓、筋肉など)との関連を解析する研究手法について教授する。 (17 秦 建文/51 董名 為一) 哲議内分泌疾患における所能解析、治療法院発を課題として、研究計画で立ていて教授する。 (18 亀属 海一/84 阿部 正理/78 沖渡(普原) 康子/85 小林 匡洋) 由政学・管臓、内分泌疾患の病施解明に向けた循床データ解析法、動命実験法について教授する。 (18 亀属 海一/84 阿部 正理/78 沖渡(普原) 康子/85 小林 匡洋) 血液学・各種血液疾患の分子溶解のメカニメルの解乳を診断法及び防療法の関発に向け研究立案をし、そこで用いる分子生物学的手法、細胞生物学的手法について教授する。 (20 中島 一郎/56 藤庭 寿一/86 小林 理子/88 中村 正史/87 菊池 大海豚上腹皮が溶放の開発に向けが完立薬をし、そこで用いる分子生物学的手法、細胞生物学的手法について教授する。 (20 中島 一郎/56 藤庭 寿一/86 小林 理子/88 中村 正史/87 菊池 大海豚上肉谷 学 に動神経疾患の病能解析 および新たな治療法の関係を課題として、研究計画を立案し、外知解経疾患における認知療能能する画像を発明を発明して、研究計画を立まし、が知能対象とはおける影型物療能を可能解明とて、研究計画を立まし、が知時所が法について教授する。 (21 下平 秀樹) 座原科学: 応力経験法とついて教授する。(22 翰木 改二/67 中川 起寿/68 山田 利男/69 古村 ド/89 丹生谷 正地/98 京野・市場科学・原治学・原治・および発生が多い、協定は研究の実生活のに対してお授する。(22 翰木 改二/67 中川 起寿/68 山市 利男/69 古村 ド/89 丹生谷 正地/98 子を 正地/98 学・市場科学・活力のは影響の展示法とついて教授する。(23 素本 特司/60 福興 なおみ) 小児科学・ル児疾患の治療解析と治療法院 現上でながる知見を見出すことを測定として、研究計画を立案し、肝胆療疾患の病態解明に向けた房子生物学の赤手法について教授する。 (26 田畑 俊治/66 清水 杯出) 1 種 1 種 1 種 1 種 1 種 1 種 1 種 1 種 1 種 1	備考

	科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(	特別研究科		(30 佐々木 達也/76 遠藤 俊毅) 脳神経外科学:脳神経外科疾患における各種誘発電位の特性と電気生理に関する新知見を見出すことを課題として、研究計画を立案し、脳神経外科手術における術中モニタリング法の基礎について教授する。	
続き)	目(続き)		(31 川上 民裕/68 池田 高治) 皮膚科学:皮膚血管炎などの皮膚科疾患の病態を解析し、皮膚固有の仕組みを 理解することを目指して研究計画を立案し、ヒトiPS 細胞からのメラノサイト 分化誘導法、皮膚血管炎における自己抗体解析法について教授する。	
			(32 太田 伸男/69 鈴木 貴博) 耳鼻咽喉科学:アレルギー性疾患および唾液腺腫瘍などの耳鼻咽喉科疾患の病態解析、治療法の開発を課題として、研究計画を立案し、課題解決に向けた研究方法について教授する。	
			(33 渡部 洋/71 酒井 啓治/70 中西 透) 産婦人科学:子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌など婦人科疾患の病態機序の解明を 課題として、婦人科癌の実病態を理解しつつ研究計画を立案し、病理学的、分 子生物学的解析手法について教授する。	
			(72 海法 康裕/93 伊藤 淳) 泌尿器科学:泌尿器科疾患に特有な病態像を理解し、病態解明と新規治療法開発を課題として、研究計画を立案し、泌尿生殖器腫瘍や神経因性膀胱などに関する基礎的知識について教授する。	
			(34 權太 浩一/94 舘 一史) 形成外科学:高齢化に伴う身体の機能低下や褥瘡、感染症に伴う組織壊死などに対する外科的治療法の開発を課題として、研究計画を立案し、加齢に伴う身体機能低下の回復、組織修復など形成外科手術の基礎的事項について教授する。	
		特別研究 I (続き)	(41 山田 隆之) 放射線医学:高度画像診断法と最新画像診断法領域における新知見を見出すことを課題として、研究計画を立案し、画像診断演習、画像診断セミナーを通じて、画像診断研究の基礎的事項について教授する。	
			(36 髙橋 伸一郎/78 沖津(菅原) 庸子) 臨床検査医学:より良い血液・輸血検査の開発、造血細胞分化とその異常によ る造血器腫瘍病態解明を課題として、研究計画を立案し、白血病の病態に関す る知識、および基本的実験手技について教授する。	
			(39 大野 勲/40 中村 豊/74 有川 智博/75 宮坂 智充) 免疫アレルギー病態学:アレルギー・免疫応答に関わる細胞とその分化および 機能調節機構の解明、アレルギー疾患の病態発症機序の解明、疾患の予防・治 療への応用を課題として、研究計画を立案し、研究遂行に必要な基礎的事項に ついて教授する。	
			(42 伊藤 弘人) 地域医療管理学:病院組織および自治体経営のトップマネジメントに関する基 礎知識とアプローチ、コンサルテーション技法を理解し、分析と仮説を実際に モデル地域に提案することを課題として、研究計画を立案し、地域医療管理学 の学術基盤の基本的事項について教授する。	
			(11 目時 弘仁) 疫学:疫学研究や臨床研究でよく用いられる統計解析方法について、統計解析 ソフトウェア統計解析ソフトウェアを用いた解析方法を習得し、疫学研究の計 画・立ち上げに着手できるように教授する。	
			(12 高木 徹也) 法医学:様々な現場で依頼される鑑定や意見、病院や検案現場で必要とされる 死因究明の思考や手技、解剖等で検討すべき鑑定などを効率よく正確に実践す ることを課題として、地域医療に還元可能な法医学領域の研究計画を立案し、 研究に着手できるように教授する。	
			(19 古川 勝敏/54 住友 和弘/55 大原 貴裕) 地域医療学:これまでの国内外の地域医療の変遷と現状を解析し、理想の地域 医療について構想、構築することを課題として、東北の地域医療における問題 点を 洗い出しつつ研究方法を立案し、研究に着手できるように教授する。	

	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	特別研究科目(続き)	特別研究 I (続き)	(29 小澤 浩司/67 菅野 晴夫)整形外科学: 加齢や外傷による運動器器官(骨、軟骨、神経、筋、靱帯)障害の病態解明を課題として、研究計画を立案し、脊柱変形による歩行障害の基礎的事項について教授する。 (35 伊藤 修/95 髙橋 麻子)リハビリテーション学: 地域における各種疾患による障害、また重複障害を有する患者のリハビリテーション診療の改善を課題として、リハビリテーション学における研究計画を立案し、研究に着手できるように教授する。 (37 賀来 満夫/73 遠藤 史郎)感染症学: 地域における感染症発生状況を把握し、新たな診断、治療、予防・制御法を開発することを課題として、研究計画を立案し、地域における感染症発生状況の把握に向けた診断法の基礎について教授する。 (38 佐川 元保)	
			腫瘍疫学:臨床疫学の手法を用いて、がん検診の精度・有効性・精度管理の改善を目指して研究計画を立案し、国内外の文献を収集し、現状の問題点について教授する。  自立的に研究を遂行・展開し、新たな知識・技能を創造できる能力を醸成するために、選択した項目(テーマ)について、立案した研究計画に沿って研究を進め、得られたデータを解析する。得られたデータの重要性・新規性・再現性について十分に検討し、必要に応じて柔軟に研究計画の変更を行う。論理的な思考力や表現力を醸成するために、定期的に研究ミーティング、論文抄読を行う。  (1 上条 桂樹/43 尾形 雅君)細胞生物学:生命の基本単位である細胞を分子レベルで理解することを課題として、研究を進められるように教授する。  (2 石田 雄介) 組織解剖学:生に神経系や感覚器に特異的に発現する遺伝子に関して新知見を	
		特別研究Ⅱ	得ることを課題として、研究を進められるように教授する。 (3 河合 佳子) 生理学:心臓・脈管系の各臓器・器官の機能と相互の制御機構解明を課題として、研究を進められるように教授する。 (4 松坂 義哉/44 坂本 一寛) 神経科学:知的行動を発現させる神経回路の仕組みの解明を課題として、研究を進められるように教授する。 (5 岡村 信行/45 中村 正帆) 薬理学:アルツハイマー病などの神経変性疾患の病態解明、睡眠覚醒サイクルの調節に関わる分子機構解明を課題として、研究を進められるように教授する。 (6 中村 保宏) 病理学:腫瘍性疾患の発症および病態制御の解明を課題として、研究を進められるように表現する。	
			れるように教授する。 (7 森口 尚/79 上村 聡志) 医化学:慢性炎症性疾患の転写因子・糖鎖分子を基盤とした病態メカニズムの解明を課題として、研究を進められるように教授する。 (8 神田 輝/46 生田 和史) 微生物学:病原微生物、特にウイルスによる病原性発現機構の解明を課題として、研究を進められるように教授する。 (9 中村 晃/80 海部 知則) 免疫学:アレルギー性疾患や自己免疫疾患など代表的な免疫疾患の病態解明を課題として、研究を進められるように教授する。 (10 栗政 明弘/47 桑原 義和) 放射線基礎医学:放射線生物影響の基盤となる分子メカニズムの解明を課題として、研究を進められるように教授する。 (13 小丸 達也/48 熊谷 浩司/81 亀山 剛義) 循環器内科学:不整脈や心筋梗塞などの心疾患の病態解明、診断法の確立、治療法の確立を課題として、研究を進められるように教授する。	

	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続き)	区分	特別研究Ⅲ(続き)	(14 大類 孝/15 吉村 成央) 呼吸器內科学: 肺癌・COPDなどの呼吸器疾患の病態解明、新しいバイオマーカーの探索、高齢者肺炎の病態解明と新たな予防法確立を課題として、研究を進められるように教授する。 (16 佐藤 賢一/49 廣田 衛久/77 小暮 高之/82 遠藤 克哉/83 高須 充子) 消化器內科学: 消化器に生ずるすべての癌や炎症性疾患を対象とした発生機序と悪性化機構解明を課題として、研究を進められるように教授する。 (50 澤田 正二郎) 糖尿病代謝内科学: 血糖の恒常性維持機構の理解、および糖代謝異常の病態解明を課題として、研究を進められるように教授する。 (17 森 建文/51 室谷 嘉一) 腎臓内分泌内科学: 宮谷 藤一) 腎臓内分泌内科学: 常藤・内分泌疾患における病態解析、治療法開発を課題として、研究を進められるように教授する。 (18 亀岡 淳一/82 小寺 隆雄/53 城田 祐子) 厳宗免疫学: 自己免疫疾患ならびにリウマチ性疾患の病態メカニズム解明と診断法、治療法の開発を課題として、研究を進められるように教授する。 (20 中島 一郎/56 藤盛 寿一/86 小林 理子/88 中村 正史/87 紫池 大一) 脳神経内科学: 脳神経疾患の病態解析、および新たな治療法の開発を課題として、研究を進められるように教授する。 (21 下平 秀樹) 腫瘍内科学分野: がんゲノム情報を臨床の現場で役立てるためのデータ収集や、新規のがん分子標的薬やバイオマーカー開発のためのシーズ探索を課題として、研究を進められるように教授する。 (22 鈴木 映二/57 中川 誠秀/58 山田 和男/59 吉村 淳/89 丹生谷 正史) 精神科学: 脳科学で行われている基礎研究に基づき、臨床応用可能とするための橋渡し研究の実施を課題として、研究を進められるように教授する。 (23 森本 哲司/60 福泉 なおみ) 小児科学: 小児疾患の病態解明と治療法開発につながる知見を見出すことを課題として、研究を進められるように教授する。 (24 片客 友/61 山本 久仁治) 肝胆膵疾患の病態解明と治療法開発につながる知見を見出すこ	備考
			一) 脳神経内科学:脳神経疾患の病態解析、および新たな治療法の開発を課題として、研究を進められるように教授する。 (21 下平 秀樹)	
			腫瘍内科学分野:がんゲノム情報を臨床の現場で役立てるためのデータ収集	
		(統き <i>)</i> 	(22 鈴木 映二/57 中川 誠秀/58 山田 和男/59 吉村 淳/89 丹生谷 正	
			精神科学:脳科学で行われている基礎研究に基づき、臨床応用可能とするため	
			小児科学:小児疾患の病態解明と治療法開発につながる知見を見出すことを課	
			(25 柴田 近/62 中野 徹/90 長尾 宗紀) 消化器外科学:食道がん、胃がん、大腸がん、炎症性腸疾患の手術による機能 障害の改善を課題として、研究を進められるように教授する。	
			(26 田畑 俊治/63 菅原 崇史/64 手塚 則明/91 石橋 直也/92 三友 英紀)	
			呼吸器外科学:肺癌に対し分子生物学的手法を用いた最新の診断方法と治療効果推定法の開発を課題として、研究を進められるように教授する。	
			(27 鈴木 昭彦/65 渡部 剛) 乳腺・内分泌外科学:乳がんの病態や治療法に関して新知見を見出すことを課題として、研究を進められるように教授する。	
İ			(28 川本 俊輔/66 清水 拓也) 心臓血管外科学:大動脈瘤などの心臓血管疾患の診断治療アルゴリズム開発を 課題として、研究を進められるように教授する。	
			(30 佐々木 達也/76 遠藤 俊毅) 脳神経外科学:脳神経外科疾患における各種誘発電位の特性と電気生理に関す る新知見を見出すことを課題として、研究を進められるように教授する。	

(31 川上 民俗/悠 浩田 海角)		科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	専門科目(続	区 特別研究科目(続	特別研究Ⅱ	(31 川上 民裕/68 池田 高治) 皮膚科突患の病態を解析し、皮膚固有の仕組みを遺解することを課題として、皮膚疾患の新たな治療法開棄を目指した研究を進められるように教授する。 (32 太田 伸男・アレルギー性疾患および唾液腺腫瘍などの耳鼻咽喉科疾患の病態療所、治療法の開発を課題として、研究を進められるように教授する。 (33 太田 伸男・子宮体筋、子宮螺筋、上して、研究を進められるように教授する。 (33 強部 洋/刀 酒井 啓治/70 中面 透) 電場人科疾患の病態機序の解明を課題として、研究を進められるように教授する。 (72 宿法 味粉/93 伊藤 湾) 総尿器科疾患に特有な病態像を理解し、病態解明と新規治療法開発を課題として、研究を進められるように教授する。 (34 權太 浩一/94 館 一史) 形成外科学: 高齢化に伴う身体の機能低下や褥瘡、感染症に伴う組織壊死などに対する外科的治療法の開発を課題として、研究を進められるように教授する。 (34 確太 浩一/94 館 一史) 形成外科学: 高齢化に伴う身体の機能低下や褥瘡、感染症に伴う組織壊死などに対する外科的治療法の開発を課題として、研究を進められるように教授する。 (41 山田 隆之) 放射解医学: 大田 一度 1 を課題として、研究を進められるように教授する。 (36 高橋 伸一郎/78 神津(管原) 庸子) 壁床検査医学: より良い血液 電離型をして、研究を進められるように教授する。 (39 大野 敷/40 中村 豊/74 有川 管博/75 宮坂 智定的を決する。 (42 伊藤 弘人) 地域医療管験研究・展胱組織および自治体経営のトップマネジメントに関する基礎知識をアプローチ、コンサルギー疾患のれるように教授する。 (42 南藤 秋年 1 中 弘人) 地域医療学: 潜得した統計解析リフトウェアを用いた解析方法を用いて、立ち上げた疫学・研究の維持に参加する。 (12 高末 徹本の場所・行 で変・進められるように教授する。 (19 古川 勝敏/54 仕友 和弘/55 大順 青裕) 地域医療学: これまでの国内外の地域医療の変遷と現状を解析し、理想の地域医療学・関連のよりに必要な事業の企画・提言を進められるように教授する。 (19 小門 勝敏/54 仕友 和34/55 大順 青裕) 地域医療学・これまでの国内外の地域医療の変遷と現状を解析し、理想の地域を繋について構想、標菜すると、大原発を進められるように教授する。 (19 小門 勝城/54 住友 和34/55 大順 青裕) 小腹原の子・ション等・地域における感染症を進められるように教授する。 (29 小澤 浩川 から、後寒 20 全種 3 との、 25 小澤 25 に教授する。 (36 伊藤 修/95 高橋 麻子) リハビリテーション診療の改善を運動として、研究を進められるように教授する。 (37 賀来 満末/73 蓮藤 史郎 26 に教授する。 26 小藤 26 に教授する。 27 小藤 26 に教授する。 28 に教授を発展する。 28 に教授する。 28 に教授する。 28 に教授する。 28 に教授する。 28 に教授する。 28 に教授する。 28 に教授を発展する。 28 に教授する。 28 に教授する。 28 に教授する。 28 に教授する。 28 に教授を発見を使用する。 28 に教授をといれる。 28 に教授をといれる	備

	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(	特別研究科		自立的に研究を遂行・展開し、新たな知識・技能を創造できる能力を醸成する ために、選択した項目(テーマ)について「特別研究Ⅱ」に引き続き研究・ データ解析・考察を実施しながら、研究会・学会における成果発表と質疑応答 を経験させる。さらに論文作成、学術雑誌への投稿へと進める。	
続き)	:目 (続き)		(1 上条 桂樹/43 尾形 雅君) 細胞生物学:生命の基本単位である細胞を分子レベルで理解することを課題と して、細胞生物学上の新知見をまとめ、研究会・学会で発表し、論文投稿へと 進める。	
			(2 石田 雄介) 組織解剖学:神経系や感覚器に特異的に発現する遺伝子に関する新知見を国内 外の学会で発表し、論文投稿へと進める。	
			(3 河合 佳子) 生理学:心臓・脈管系に関する新知見をまとめ、研究成果を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。	
			(4 松坂 義哉/44 坂本 一寛) 神経科学:知的行動を発現させる神経回路の仕組みに関する新知見を研究会・ 学会で発表し、論文投稿へと進める。	
			(5 岡村 信行/45 中村 正帆) 薬理学:アルツハイマー病の病態、睡眠覚醒系神経回路の調節に関する新知見 をまとめ、研究会・学会で発表し、論文投稿へと進める。	
		特別研究Ⅲ	(6 中村 保宏) 病理学:腫瘍性疾患の発症および病態制御に関する新知見をまとめ、国内外学 会で発表し、論文投稿へと進める。	
			(7 森口 尚/79 上村 聡志) 医化学:慢性炎症疾患における遺伝子発現制御、細胞膜脂質合成に関する新知 見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。	
İ			(8 神田 輝/46 生田 和史) 微生物学:ウイルスによる病原性発現機構に関する新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。	
			(9 中村 晃/80 海部 知則) 免疫学:アレルギー性疾患や自己免疫疾患に関する新知見を国内外学会で発表 し、論文投稿へと進める。	
			(10 栗政 明弘/47 桑原 義和) 放射線基礎医学:放射線生物影響の基盤となる分子メカニズムに関する新知見 を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。	
			(13 小丸 達也/48 熊谷 浩司/81 亀山 剛義) 循環器内科学:心疾患の病態解明につながる新たな評価法開発に関して国内外 学会で発表し、論文投稿へと進める。	
			(14 大類 孝/15 吉村 成央) 呼吸器内科学:肺癌・COPDなどの呼吸器疾患の病態に関する新知見をまとめ、 研究会・学会で発表し、論文投稿へと進める。	
			(16 佐藤 賢一/49 廣田 衛久/77 小暮 高之/82 遠藤 克哉/83 高須 充	
			子) 消化器内科学:癌や炎症性疾患の発症機序・悪性化機構に関する新知見をまとめ、国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。	
			(50 澤田 正二郎) 糖尿病代謝内科学:糖代謝異常に関わる新知見をまとめ、国内外の学会で発表 し、論文投稿へと進める。	
			(17 森 建文/51 室谷 嘉一) 腎臓内分泌内科学:腎臓・内分泌疾患の病態と治療法に関する新知見を国内外 の学会で発表し、論文投稿へと進める。	
İ			(18 亀岡 淳一/84 阿部 正理/78 沖津 (菅原) 庸子/85 小林 匡洋) 血液学:各種血液疾患の分子病態のメカニズムと診断法及び治療法に関する新 知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。	

科目 区分		日の名称 講義等の内容 備考
専門 別研究		(18 亀岡 淳一/52 小寺 隆雄/53 城田 祐子) 臨床免疫学:自己免疫疾患ならびにリウマチ性疾患の病態メカニズムと診断 法、治療法に関する新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。
<ul><li>○ 科</li><li>続 目</li></ul>		(20 中島 一郎/56 藤盛 寿一/86 小林 理子/88 中村 正史/87 菊池 大
き (続き)		脳神経内科学:多発性硬化症など中枢神経疾患の病態に関する新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。
		(21 下平 秀樹) 腫瘍内科学分野:がんゲノム情報解析や、新規癌分子標的薬開発のシーズ探索 に関する新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。
		(22 鈴木 映二/57 中川 誠秀/58 山田 和男/59 吉村 淳/89 丹生谷 正
		史) 精神科学:精神疾患の病態と治療法開発に関する研究成果を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。
		(23 森本 哲司/60 福與 なおみ) 小児科学:小児疾患の病態、治療法に関する新知見を国内外の学会で発表し、 論文投稿へと進める。
		(24 片寄 友/61 山本 久仁治) 肝胆膵外科学:肝胆膵疾患の病態、治療法に関する新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。
		(25 柴田 近/62 中野 徹/90 長尾 宗紀) 消化器外科学:QOLを重視した術式開発に関する研究成果を国内外の学会で発表 し、論文投稿へと進める。
		(26 田畑 俊治/63 菅原 崇史/64 手塚 則明/91 石橋 直也/92 三友 英紀)
	特別研究Ⅲ	呼吸器外科学:肺癌の予防・診断・オーダーメイド治療に関する新知見を国内 外の学会で発表し、論文投稿へと進める。
	(続き)	(27 鈴木 昭彦/65 渡部 剛) 乳腺・内分泌外科学:乳がんの病態や治療法に関する新知見を国内外の学会で 発表し、論文投稿へと進める。
		(28 川本 俊輔/66 清水 拓也) 心臓血管外科学:心臓血管疾患の診断治療アルゴリズムに関する新知見を国内 外の学会で発表し、論文投稿へと進める。
		(30 佐々木 達也/76 遠藤 俊毅) 脳神経外科学:脳神経外科手術における術中モニタリング法に関する新知見を 国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。
		(31 川上 民裕/68 池田 高治) 皮膚科学:皮膚疾患の新たな治療法につながる新知見を国内外の学会で発表 し、論文投稿へと進める。
		(32 太田 伸男/69 鈴木 貴博) 耳鼻咽喉科学:アレルギー疾患や唾液腺腫瘍などの病態に関する新知見を国内 外の学会で発表し、論文投稿へと進める。
		(33 渡部 洋/71 酒井 啓治/70 中西 透) 産婦人科学:婦人科癌の発癌機序や治療法開発に関する新知見を国内外の学会 で発表し、論文投稿へと進める。
		(72 海法 康裕/93 伊藤 淳) 泌尿器科学:泌尿生殖器腫瘍や神経因性膀胱などの診断・治療に関する新知見 を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。
		(34 權太 浩一/94 舘 一史) 形成外科学:高齢化に伴う身体の機能低下や褥瘡、感染症に伴う組織壊死など に対して、その機能回復・組織修復につながる新知見を見出し、国内外の学会 で発表し、論文投稿へと進める。

	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
門科目	特別研究科目(続き)	特別研究Ⅲ(続き)	(41 山田 隆之) 放射線医学:最新画像診断法領域における新知見をまとめ、症例報告や研究成果について国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。 (36 髙橋 伸一郎/78 沖津(菅原)庸子)臨床検査医学:自血病の病態、および発症機序に基づく治療法に関する新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。 (39 大野 勲/40 中村 豊/74 有川 智博/75 宮坂 智充)免疫アレルギー病態学:アレルギー疾患の発症機序解明、および予防・治療への応用に関する新知見をまとめ、国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。 (42 伊藤 弘人)地域医療管理学:研究成果の分析と仮説を実際にモデル地域に提案する。研究成果を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。 (11 目時 弘仁)安学:地域、病院で立ち上げ、維持に参加した臨床研究から健康課題を抽出し、国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。 (12 高木 徹也)法医学:死因発明の思考や手技、鑑定のより正確な実践に関する研究成果をまとめ、新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。 (19 古川 勝敏/54 住友 和弘/55 大原 貴裕)地域医療学:地域の健康づくりに必要な事業を企画・提言を行い、研究成果を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。 (29 小澤 浩司/67 菅野 晴夫) 地域と療学:高齢者の姿勢変化につながる病態に関する新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。 (35 伊藤 修/95 髙橋 麻子)リハビリテーション学:各種疾患による障害、重複障害を有する患者のリハビリテーション診療に関する新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。 (37 賀来 満夫/73 遠藤 史郎) 感染症学・感染症サーベイランス、および診断・治療薬・ワクチン・制御法に関する新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。 (38 佐川 元保)腫瘍疫学:がん検診データを臨床疫学的手法で解析し、解釈上の種々の問題点を理解する。得られた新知見を国内外の学会で発表し、論文投稿へと進める。	

専 特	科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
(13 小丸 達也 48 熊谷 浩司 81 亀山 剛義) 循環器内科学: 心疾患の病態解明、診断法・治療法の確立に関する新知見を論文発表し、学位論文を作成する。 (14 大類 孝/15 吉村 成央) 呼吸器内科学: 肺癌対する免疫チェックポイント阻害薬・バイオマーカー、高齢者肺炎の新たな予防的治療法、COPDの効果的なリハビリと管理システムについて論文発表し、学位論文を作成する。 (16 佐藤 賢一/49 廣田 衛久/77 小暮 高之/82 遠藤 克哉/83 高須 充子) 消化器内科学: 消化器に生ずる癌や炎症性疾患の発症機序・悪性化機構に関する新知見を論文発表し、学位論文を作成する。 (50 澤田 正二郎) 糖尿病代謝内科学: 血糖の恒常性維持機構、糖代謝異常に関わる新知見を論文発表し、学位論文を作成する。 (17 森 建文/51 室谷 嘉一) 腎臓内分泌内科学: 腎臓・内分泌疾患の病態と治療法に関する新知見を論文発表し、学位論文を作成する。 (18 亀岡 淳一/84 阿部 正理/78 沖津(菅原) 庸子/85 小林 匡洋) 血液学:各種血液疾患の分子病態のメカニズムと診断法及び治療法に関する新知見を論文発表し、学位論文を作成する。	専門科目(続き)	特別研究IV	ために、選択した項目(テーマ)について、「特別研究皿」に引き続き、論文作成、学権機器・役権を行い、金語数がから受理までの過程を体得させる。また研究論文を基に、学位論文を作成し、学位発表までの全過程を修了する。 (1 上条 柱樹/43 尾形 雅君) 細胞生物学: 細胞生物学:の新知見を英文査読誌に発表し、学位論文を作成する。 (2 石田 雄介) 組織解剖学: 神経系や感覚器に特異的に発現する遺伝子に関する新知見を、筆頭著者として国内外の雑誌に発表し、学位論文を作成する。 (3 河合 住子) 生理学:心臓・脈管系の関する研究成果を筆頭著者として英文専門誌に発表し、学位論文を作成する。 (4 松坂 義哉/44 坂本 一寬) 神経科学: 知的行動を現させる神経回路の仕組みに関する研究成果を筆頭著者として欧米の専門誌に発表し、学位論文を作成する。 (6 阿村 信行/45 中村 正代) 中間、受力、学校、企業の政策を発表し、学位論文を作成する。 (6 阿村 信行/5 中村 正代) 中間、受力、学校、企業の政策を表し、学校、企業の政策を表し、学校、企業の政策を表し、学校、企業の政策を表し、学位論文を作成する。 (6 中村 保安) の 第二年 大学位論文を作成する。 (6 中村 保安) の 第二年 大学位論文を作成する。 (6 中村 保安) の 第二年 大学位論文を作成する。 (6 神村 保安) の 第二年 大学位論文を作成する。 (6 神村 保安) の 第二年 大学位論文を作成する。 (7 森口 尚/79 上村 聡志) 医化学: 慢性炎症疾患における遺伝子発現制御、細胞腫脂質合成に関する研究成果を、筆頭著者として英文論文にまとめ、欧米の専門誌に発表し、学位論文を作成する。 (8 神田 輝/46 生田 和史) 微生物学: ウイルスによる病原性発現機構に関する研究成果を、筆頭演者として政*の専門誌に発表し、学位論文を作成する。 (10 栗政 明3./47 桑原 義和) 別教経、基礎となる分子メカニズムに関する研究成果を、筆頭演者として政*の専門誌に発表し、学位論文を作成する。 (11 小丸 達也/48 熊谷 海河/81 色山 剛美) (12 東政 孝/15 吉村 成央) 第一次表表し、学位論文を作成する。 (14 大類 孝/15 吉村 成央) 第一次表表し、学位論文を作成する。 (16 佐藤 賢一/49 廣田 衛人/77 小暮 高之/82 遠藤 東哉/83 高須 充字) 消化器内科学: 消化器に生する 金を炎症性疾患の発症機序・悪性化機構に関する新知及の新たな子的的治療法、COPDの効果的なリハビリと管理システムについて論文差と、学位論文を作成する。 (16 佐藤 賢一/49 廣田 衛人/77 小暮 高之/82 遠藤 東哉/83 高須 充 元) 解議内科学: 消化器内科学: 高速 文を作成する。 (16 海 康子/85 小株 匡洋) 本級学 全 企論文を作成する。	

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目(続		(18 亀岡 淳一/52 小寺 隆雄/53 城田 祐子) 臨床免疫学:自己免疫疾患ならびにリウマチ性疾患の病態メカニズムと診断 法、治療法に関する新知見を論文発表し、学位論文を作成する。 (20 中島 一郎/56 藤盛 寿一/86 小林 理子/88 中村 正史/87 菊池 大	
き) (続き)		脳神経内科学:多発性硬化症などの中枢神経疾患の病態に関する新知見を論文発表し、学位論文を作成する。	
		(21 下平 秀樹) 腫瘍内科学:がんゲノム情報解析や、新規癌分子標的薬開発のシーズ探索に関する新知見を論文発表し、学位論文を作成する。	
		(22 鈴木 映二/57 中川 誠秀/58 山田 和男/59 吉村 淳/89 丹生谷 正 史) 精神科学:精神疾患の病態と治療内容との関連を検討した研究成果を論文発表 し、学位論文を作成する。	
		(23 森本 哲司/60 福與 なおみ) 小児科学:小児疾患の病態、治療法に関する研究成果を論文発表し、学位論文 を作成する。	
		(24 片寄 友/61 山本 久仁治) 肝胆膵外科学:肝胆膵疾患の病態、治療法に関する研究成果を論文発表し、学 位論文を作成する。	
	特別研究IV (続き)	(25 柴田 近/62 中野 徹/90 長尾 宗紀) 消化器外科学:食道癌、胃癌、大腸がん、炎症性腸疾患の手術において、QOLを 重視した術式開発に関する研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。	
		(26 田畑 俊治/63 菅原 崇史/64 手塚 則明/91 石橋 直也/92 三友 英	
		紀) 呼吸器外科学:肺癌の予防・診断・オーダーメイド治療に関する研究成果を論 文発表し、学位論文を作成する。	
		(27 鈴木 昭彦/65 渡部 剛) 乳腺・内分泌外科学:乳がんの病態や治療法に関する研究成果を論文発表し、 学位論文を作成する。	
		(28 川本 俊輔/66 清水 拓也) 心臓血管外科学:心臓血管疾患の診断治療アルゴリズムに関する研究成果を論 文発表し、学位論文を作成する。	
		(30 佐々木 達也/76 遠藤 俊毅) 脳神経外科学:脳神経外科手術における術中モニタリング法に関する研究成果 を論文発表し、学位論文を作成する。	
		(31 川上 民裕/68 池田 高治) 皮膚科学:皮膚疾患の新たな治療法につながる研究成果を論文発表し、学位論 文を作成する。	
		(32 太田 伸男/69 鈴木 貴博) 耳鼻咽喉科学:アレルギー疾患や唾液腺腫瘍などの病態に関する研究成果を論 文発表し、学位論文を作成する。	
		(33 渡部 洋/71 酒井 啓治/70 中西 透) 産婦人科学:婦人科癌の発癌機序や治療法開発に関する研究成果を論文発表 し、学位論文を作成する。	
		(72 海法 康裕/93 伊藤 淳) 泌尿器科学:泌尿生殖器腫瘍や神経因性膀胱の病態の解明と治療法に関する研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。	
		(34 權太 浩一/94 舘 一史) 形成外科学:高齢化に伴う身体の機能低下や褥瘡、感染症に伴う組織壊死など について、機能回復・組織修復につながる研究成果を論文発表し、学位論文を 作成する。	

専門   特別   (41 山田 隆之) 放射線医学:最新画像診断法領域における症例報告や研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。		科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
(続き)  (19 古川 勝敏/54 住友 和弘/55 大原 貴裕) 地域医療学:医療スタッフと協同して地域の健康づくりに必要な事業を企画・提言し、研究成果を論文発表する。 さらに学位論文を作成する。  (29 小澤 浩司/67 菅野 晴夫) 整形外科学:加齢や外傷による運動器器官(骨、軟骨、神経、筋、靭帯)障害の病態、特に高齢者の姿勢変化につながる病態に関する研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。  (35 伊藤 修/95 髙橋 麻子) リハビリテーション学:リハビリテーション診療に関する新知見を学術誌で発表し、学位論文を作成する。  (37 賀来 満夫/73 遠藤 史郎) 感染症学:感染症サーベイランス、および診断・治療薬・ワクチン・制御法に関する研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。  (38 佐川 元保) 腫瘍疫学:がん検診の精度・有効性・精度管理について、がん検診データを臨床疫学的手法によって解析した研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。	門科目(続	別研究科目(続		放射線医学:最新画像診断法領域における症例報告や研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。 (36 髙橋 伸一郎/78 沖津(菅原)庸子)臨床検査医学:自血病の病態、および発症機序に基づく治療法に関する研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。 (39 大野 勲/40 中村 豊/74 有川 智博/75 宮坂 智充)免疫アレルギー病態学:アレルギー疾患の発症機序解明、および予防・治療への応用に関する研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。 (42 伊藤 弘人)地域医療管理学:病院組織および自治体経営のトップマネジメントに関するコンサルテーション技法を用いて、分析と仮説をモデル地域に提案後、進捗管理を行う。得られた研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。 (11 目時 弘仁)疫学:地域、病院で立ち上げ、維持に参加した臨床研究の研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。 (12 高木 徹也)法医学:地域医療に還元できる法医学領域の研究テーマについて、博士論文を執筆、実践への応用を行って検討を行う。 (19 古川 勝敏/54 住友 和弘/55 大原貴裕)地域医療学:医療スタッフと協同して地域の健康づくりに必要な事業を企画・提言し、研究成果を論文発表する。さらに学位論文を作成する。 (29 小澤 浩司/67 菅野 晴夫)整形外科学:加齢や外傷による運動器器官(骨、軟骨、神経、筋、靱帯)障害の病態、特に高齢者の姿勢変化につながる病態に関する研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。 (35 伊藤 修/95 髙橋 麻子)リハビリテーション学:リハビリテーション診療に関する新知見を学術誌で発表し、学位論文を作成する。 (37 賀来 満夫/73 遠藤 史郎) 感染症学:感染症サーベイランス、および診断・治療薬・ワクチン・制御法に関する研究成果を論文発表し、学位論文を作成する。 (38 佐川 元保)	